

リアホサ

救いの業の
統一性, 14ページ

うつ病から学んだこと,
26ページ

慎み深さがもたらす
3つの祝福, 36ページ

青少年が家族歴史を行う
5つの方法, 58ページ



「だれが賢い妻を
見つけることができるか、
彼女は宝石よりも
すぐれて尊い。」

箴言 31 : 10



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
信仰の祈り
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な使命
——命のパン

特集

- 14 伝道, 家族歴史および神殿活動
デビッド・A・ベドナー長老
福音を宣べ伝え、一致協力して死者
を捜し求めましょう。

- 20 家庭——最も大切な学び舎
家庭で学んだ教えは、生涯にわたって、そして永遠にわたしたちの中にとどまります。
- 26 水の面に
ジョン・ワーナー
わたしは、うつと不安の波に沈められるように感じましたが、神はわたしを浮かび上がらせ、約束の地に向けて運んでくださいました。
- 28 世界各地の開拓者たち——
チリにおける改宗と変遷
ネストル・クルベロ
今日、チリ人の30人に一人が教会員となっています。
- 36 慎み深さを選ぶ勇氣
キャロル・F・マッコスキー
慎み深さについての教義とそれがもたらす祝福とは何でしょうか。

シリーズ

- 8 教会での奉仕——
ありがとう、ジェイ兄弟
クリスティン・パーセル
- 9 旧約聖書の預言者たち——
エレミヤ
- 10 キリストについて語る——
「翠玉白菜」
エレン・C・ジェンセン
- 12 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
リゾチカの心臓
マリナ・ペトロバ
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——欺き
M・ラッセル・バラード長老
サタンはわたしたちを釣り上げるために、ちょうどフライフィッシングをする人々のように、疑似餌を使います。

表紙

表紙——写真/レスリー・ニルソン
表紙裏——フォトイラストレーション/マシュー・ライアー



44

44 信仰を擁護する

ヤングアダルトたちが、いかに力強く自分たちの信仰を擁護しているかを分かち合ってください。

48 生活の中の福音——わたしの証——

切り離せない福音とモルモン書

アイビー・ノチェ

モルモン書に対する証を持っていないことで、教会への信仰にまで疑問を持つようになりました。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
探しましょう。
ヒント——
ほうし
奉仕をするのに
よい
良い時は
いつでしょうか。

50 自由意志か道徳的な選択の自由か
マイケル・R・モリス

友人は専任宣教師として奉仕するのに不資格だと自ら認め、断念しました。わたしは伝道に出ることを自由に選択することができるでしょうか。

52 質疑応答

わたしは思いをコントロールするように努めていますが、それでも多くの誘惑を受けます。どうすればもっと清い思いを持てるでしょうか。

54 重要な質問のしかた

デビッド・A・エドワーズ

他の人が福音をよりよく学ぶのに役立つような質問をする方法を身につけましょう。

57 強さと成功の見つけ方

ジェフリー・R・ホランド長老

わたしたちは、イエス・キリストに従うことによって、安全と成功と幸福を経験することができます。

58 家族歴史——

わたしは実践しています

これらの青少年は、家族歴史活動に携わることにより、予想もしていなかった祝福を見いだしました。

61 ポスター——

先祖を見つけて、自分を見つけよう

62 伝道を反対されたわたし

アルセニル・デ・ソーザ

伝道に出る準備をしていると、不思議なことが次々と起こり始めました。

64 将来待ち受けているものについてもっとよく知る

キャサリン・アペルセス-アーネンセン
専任宣教師の生活は今の生活とは異なります。ノルウェー、オスロの青少年は、その変化に備えて1日を過ごしました。



78

66 後で奉仕するために、今、奉仕する
マイク・バルボサ

モルモンはどうして友達とサッカーをする代わりに教会の掃除を手伝うことにしたのでしょうか。

68 若い女性になるじゅんびをする
マチルダ

ジェン・ウィルクス

若い女性になるってどんなことなのでしょう。

70 音楽——今こそ輝こう

ジャン・ピンボロー、
ジャンス・カップ・ペリー

71 特別な証人——

どうしたら家族歴史活動を助けられるでしょうか？
クエンティン・L・クック長老

72 初等協会を かていでも——

「家族——世界への宣言」は、わたしの かぞくを たすけるために かみから あたえられました。
エリン・サンダーソンとジーン・ビンガム

74 せかいの ともだち——

わたしは チリの パーバラです
エイミー・ジェーン・レビット

76 わたしたちの ページ

77 見上げなさい

アドリアン・オチョア長老
わたしたちは雨の中、道にまよってしまいました。そのうえ、わたしたちの馬はにげて行ってしまいました。

78 小さな みんなのために——

かぞくの チーム
シェラリー・ハーディ



58

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリー、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレーグ・A・カードン

顧問: マービン・B・アーンホルド、クリストフェル・ゴールデン、ラリー・R・ローレンス、ジェームズ・B・マルティノ、ジョセフ・W・シターティ

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワーナー

業務ディレクター: ピンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャノン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: リサ・C・ロベス

執筆・編集: フリットナー・ビーティ、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットン、ローリー・ブライ、ギャレット・H・ガブ、フリン・ポーター、ガント、ミンディー・アン・リービッド、マイケル・R・モリス、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・パーキー、ジャン・ピンボロー、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンデンバーク、マリッサ・ウィティソン

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ビーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・M・ベントレー、C・キンボール・ポット、トーマス・チャイルド、ネート・ギネス、コリン・ヒンクレイ、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフクレイン、スコット・M・ムーイ、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・テアー、K・ニコル・ウーケンホースト

デザイン・インターン: スパンサ・ウォンウイラファブ

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネバカー、オーヌ

制作主幹: ジェーン・アン・ビーターズ

制作: ケビン・C・パンクス、コニー・パウソープ、ブリッジ、ジュリー・バーデット、ブライアン・W・ギュギ、デニス・カービー、ギニー・J・コルソン、ゲイル・テイト、ラファティ

製版: ジョブ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレーグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティブン・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳課長: 森田康貴

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み、配送に際してのお願い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 950円(送料共)

普通号/大会号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書)に出ている言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバーニア語、アルメニア語、ヒスパラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クオアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィン語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2014 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2014 Vol. 38 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480)
English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「家族歴史——わたしは実践しています」

58 ページ——日記をつける活動を開きましよう。自分の生活について、どんなことでもよいから記録するよう家族を励ましてください。何年も前の思い出でも、今日起きたことでもよいのです。日記をつける方法はいろいろあることを家族が理解できるよう助けてください。手で書く、タイプして打つ、絵を描くなどの他、ボイスレコーダーに話を録音してもよいでしょう。日記をつけることを続けるように励ましてください。

「将来待ち受けているものについてもっとよく知る」

64 ページ——ノルウェーのワードで行われたような伝道準備活動を行ってみてください。彼らと同じことを教えてもよいでしょう。例えば、福音に関する会話を始める方法やワイシャツにアイロンをかける方法など、伝道地で役に立つと思われるその他の技能に焦点を当てるとよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 8, 41
あかし, 48

イエス・キリスト, 7, 57

祈り, 4, 40, 71

うつ病, 26, 42

エレミヤ, 9

教え, 20, 36, 54

家族, 12, 20, 61, 72, 78

家族歴史, 14, 58, 71

教会歴史, 28

贖罪, 10, 80

試練, 12, 26, 62

信仰, 4, 26

神殿活動, 14, 58

救いの業, 14, 20, 54, 58, 62,

64

選択の自由, 50

断食, 4

チリ, 28, 74

慎み深さ, 36

伝道活動, 14, 28, 62, 64

奉仕, 8, 66

恵み, 10

召し, 8

モルモン書, 48

誘惑に打ち勝つ, 43, 44, 52,

80

弱さ, 10

若い女性, 68



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

信仰の祈り

祈りはわたしたちが神に話し掛ける言葉以上のものです。神とその子供たちが双方向で行うコミュニケーションなのです。

祈りが本来の働きをなす有益なものであるとき、わたしたちは心に感じていることを簡潔な言葉で表現します。天の御父は通常、わたしたちの心に感情を伴う思いを浮かばせることによって答えてくださいます。いつ、どのような答えが与えられようとも御父に従おうという決意をもって祈るとき、御父はわたしたちがささげる心からの祈りを常に聞いてくださいます。

モルモン書を読み、この書物について祈る全ての人に、主は次のように約束しておられます。

「また、この記録を受けるとき、これが真実かどうかキリストの名によって永遠の父なる神に問うように、あなたがたに勧めたい。もしキリストを信じながら、誠心誠意問うならば、神はこれが真実であることを、聖霊の力によってあなたがたに明らかにしてくださる。

そして聖霊の力によって、あなたがたはすべてのことの真理を知るであろう。」(モロナイ 10:4-5)

この約束は確かに果たされます。これまでに無数の人々が祈りについてのこのすばらしい約束を試し、人生を喜びと永続する幸福で満たす祝福にあずかることで立証してきま

した。この約束は、自分に対する神の思いと御心^{みこころ}を知ろうとしてささげる全ての祈りに当てはまります。わたしたちに指示を与える権能を受けている神の僕^{しもべ}から勧告を受けたときに、いつでも実践することができます。例えば、総大会で説教を聞いたとき、この約束に頼ることができます。生ける預言者によって神から召された謙遜な宣教師から教えを受けるときに実践することができます。ビショップや支部会長から受けた勧めに対しても当てはまります。

人生において祈りから益を得るための法則は簡潔です。わたしたちは何が真実であるかを知るために、イエス・キリストの名により御父に祈ることによって尋ねなければなりません。誠実な心で尋ねなければなりません。つまり、神の答えを通して自分に求められることは何でも行おうという偽りのない思いを持つ必要があります。そしてわたしたちの誠意はイエス・キリストを信じる信仰から生じるものでなければなりません。

バプテスマと確認を受ける前にモルモン書を読む求道者は、この書物が真実であるという確信と、ジョセフ・スミスがこの書物を神の力によって翻訳したという証^{あかし}の両方を得ることができます。教会員に確認された後には、聖霊を伴侶として、他の真理を確認していただくことができます。その後、信仰をもって祈るときにはいつでも、イエスがキリストで



永遠の真理を知るために祈り、断食しました（アルマ17：3，9参照）。

断食日曜日に、わたしたちは祈りと断食を併せて行います。困窮している人が祝福を受けられるように、抜いた2食分に相当する金額かそれ以上の惜しみない断食献金をビショップまたは支部会長に渡します。わたしたちの思いと祈りは救い主に向くとともに、仕えるよう主がわたしたちに望んでおられる人たちに向きます。霊のおよび物質的な必要を満たせるように助けることによって彼らに仕えるよう、主は望んでおられるのです。

このようにして、もっと柔和で、素直で、愛にあふれた者になるために断食するとき、わたしたちの祈りと望みは救い主の祈りと望みに近いものとなっていきます。そして主がなさったように、自分に対する御父の御心を知り、行うために祈るのです。■

このメッセージから教える

祈りと断食は「永遠の真理を知る」ための助けになると、アイリング管長は教えています。訪問先の人たちの証のどういう面を強める必要があるか検討し、そのテーマについてのレッスンを準備してください。例えば、訪問先の人々が親しい友人や家族の誰かを亡くしている場合には、永遠の家族や死後の生活について話し合うことを検討してみてください。訪問先の人たちがその原則についての証を得られるように、彼らと一緒に断食することを申し出てもよいでしょう。

あられ、父なる神が生きておられ、御二方がわたしたちと天の御父の全ての子供たちを愛しておられることを、聖霊が証してくださるでしょう。

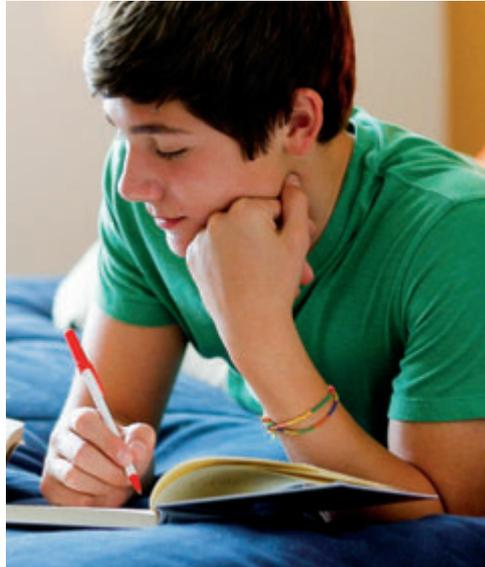
このことはモルモン書の中に次のような約束がある理由の一つでもあります。すなわち、イエスがキリストであられるという聖霊の証を受けるとき、わたしたちは心に慈愛を抱くようになるという約束です。「人が柔和で、心がへりくだっており、イエスが

キリストであることを聖霊の力によって認めるならば、その人には慈愛が必ずなければならない。」（モロナイ7：44）

断食日曜日のたびに、霊的に成長するすばらしい機会があります。断食日曜日を通して、わたしたちはアルマとモーサヤの息子たちのような経験をすることができます。アルマとモーサヤの息子たちは、レーマン人に力と権能と愛をもって教えることができるよう、

祈る前に準備しましょう

アイリング管長は、祈りは「神とその子供たちが双方向で行うコミュニケーション」であることをわたしたちに思い起こさせています。祈る準備をする時間を取ることで、そのような双方向のコミュニケーションが可能になります。日記を使い、毎日数分間を祈る準備に充てるとよいでしょう。天の御父に感謝したい祝福や、あなたの祈りを必要としている人たち、答えを得る必要のある質問のリストを作ってください。次に、賛美歌を歌ったり聖句を何節か読んだりして御霊を招きます。祈りながら、何を言うべきかを聖霊がどのように導いてくださるかに注意し、自分の気持ちや思いに注意してください(教義と聖約8:2-3



参照)。経験したことを日記に書き、受けた答えを読み返すとよいでしょう。『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』の95-97ページにある活動を使って、自分の祈りを評価し、御霊を認識することについて学んでもよいでしょう。

こども

おいのりの サンドイッチ

おいのりを するとき、何を 言え
お ば よいか、 どうしたら 分かる
でしょうか。まず、おいのりを はじめ
るときは、「あいする 天の お父さま」
と 言い、おいのりの さいごには
「イエス・キリストの みなにより、アー
メン」と 言います。その 間に 何を
言うかは、自分で えらべます。それは、
サンドイッチに はさむものを えらぶ
のと 同じです。

サンドイッチに はさみたいものを
えらびましょう。そのよこに、いのりた
いことを 書きます。しゅくふくについては
「かんしゃします」と 言うことも できま
すし、しんぱいなことについて 話すこと
も できます。あるいは しゅくふくを
おねがいしたり、聞きたいことについて
いのったりすることも できます。

この サンドイッチを 切ったり、べつ
の サンドイッチを 作ったり すること
が できます。家の 中に つるして、
いのりの 中で 言うことよいことを 思い
出せるように してください。

あいする 天の お父さま

イエス・キリストの みなにより、
アーメン。

祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 命のパン

本記事は、救い主のさまざまな使命に
焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの
一環です。

イエスは言われました。「わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。」(ヨハネ 6:51) 十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は次のように述べています。「イエスは、弟子であるわたしたちに、その日に必要な食物、すなわち助けや支えを得られるよう神に頼るべきであると教えておられます。[この] 主の勧めから、神が愛にあふれた御方であられることが分かります。神は御自身の子供たちの日常的な小さな必要までも気遣い、一人一人を助けたいと願っておられます。主は、『とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える』御方に信仰をもって願い求めれば『与えられるであろう』と述べておられます(ヤコブの手紙 1:5)。¹ 必要なものはイエス・キリストが与えてくださることを理解す



るとき、わたしたちは霊的な支えを求めて主に頼るようになります。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、「同じように命のパンを心から求めていたキリストの最初の弟子たちの体験と一緒に追体験するよう」わたしたちを招いています。「彼らはキリストから離れることなく、みもとに来て、そこにとどまり、キリスト以外に安全と救いを求める先はないことを理解しました。」²

その他の聖句

ヨハネ 6:32 - 35; アルマ 5:34;
3 ニーファイ 20:3 - 8

注

1. D・トッド・クリストファーソン「日々の祝福に神の手を認める」『リアホナ』2012年1月号, 25
2. ジェフリー・R・ホランド「主は、飢えている者を良いもので飽かせなさい」『聖徒の道』1998年1月号, 73 参照



信仰・家族・扶助

聖文から

イエス・キリストは 4,000 人以上の群衆を教えておられました。3日後、主は弟子たちに言われました。「この群衆がかわいそうである。……何も食べるものがない。

もし、彼らを空腹のまま家に帰らせるなら、途中で弱り切ってしまうであろう。……」

弟子たちは答えた、『こんな^{あらの}荒野で、どこからパンを手に入れて、これらの人々にじゅうぶん食べさせることができましょうか。』

イエスが弟子たちに、『パンはいくつあるか』と尋ねられると、『七つあります』と答えた。』

そこでキリストは「七つのパンを取り、感謝してこれをさき、人々に配るように弟子たちに渡され[た]。』

また小さい^{うお}魚が少しばかりあったので、祝福して、それをも人々に配るようにと言われた。

彼らは食べて満腹した。そして残ったパンくずを集めると、七かごになった。」(マルコ 8:1-9 参照)

考えてみましょう

キリストのもとに行くとき、主はわたしたちをどのように養ってくださるでしょうか。

ありがとう、ジェイ兄弟

クリスティン・パーセル

教会の至る所で熱心に奉仕する無数の僕たち^{しもべ}の熱意と決意、準備と愛に
どれほど感謝していることでしょうか。

「明日は日曜日よ。」わたしは膝の上で寄り添ってきた5歳の娘に言いました。娘の顔に笑みが広がりました。

「やったあ」と、娘は言いました。「じゃあ、ジェイ兄弟に会えるね。」

わたしは感謝で胸がいっぱいになりました。引っ越しの直後に新しいワードに容易になじめるようにしてくれた、愛と思いやりに満ちた初等協会の教師にどれほど感謝の気持ちを覚えたことでしょうか。合衆国中西部の故郷を後にして1,350マイル(2,173キロ)離れた地に移ったことは、家族全員にとって心の痛手となりましたが、学齢前の娘、シーズンにとっては特にそうでした。もともと内気なシーズンは、初めての場所を怖がり、新しいワードに初めて行く週には教会に出席することに不安を覚えていました。

ジェイ兄弟は優しく、熱心な人で、ユーモアと愛情を絶妙のバランスで混ぜ合わせてシーズンの信頼を勝ち得ました。初めて行ったあの日曜日、ジェイ兄弟はしゃがんでシーズンの手を握り、目をのぞき込んで言いました。「さあ、おいで。このクラスは楽しいよ。」

週を重ねていくにつれて、シーズンは一週間のうちで日曜日を他のどの日より楽しみにするようになりました。教会に着くとすぐに、娘は集まって

いる人たちを見渡して自分の教師を探しました。ジェイ兄弟はほほえんで挨拶してくれるのでした。

何年もの間、ジェイ兄弟は生徒一人一人を心に掛けて祝日や誕生日にはちょっとしたプレゼントをくれました。シーズンの誕生日が近づいたとき、娘が誕生会に招待したいと思った一番大切なお客様はジェイ兄弟でした。

幼い娘の生活の中で自分がどれほど大きな影響力を持つ存在になっていたか、ジェイ兄弟は分かっていたのでしょうか。彼の言葉や行いから5歳の初等協会の生徒たちがどれほど多くを吸収していたか、想像することがあったのでしょうか。彼が娘の生活の一部となってくれていたことが、母親であるわたしにとってどれほど大きな意味を持っていたか、分かっていたのでしょうか。

後に、シーズンは進級してエドワード兄弟のクラスになりましたが、初等協会でのすばらしい経験は続きました。シーズンの人生に霊的な良い影響を及ぼしてくれた全ての誠実でよく備えた謙遜な人たちに、わたしはどれほど感謝していることでしょうか。

霊的に成長していく道にあってわたしたちのために奉仕してくれた献身的な人たちによって、家族の全員が祝福を受けてきました。とても優秀なボーイスカウトの隊長、寛容に富んだ祭司定



員会アドバイザー、忍耐強いセミナー教師、並外れた若い女性会長会、そして思いやりのあるピショップのことを思い出します。

わたしたち家族は多くの祝福を受けてきましたが、それが自分たちに限ったことではないと知っています。「ジェイ兄弟」は大勢いることでしょうか。奉仕によってわたしたちのような家族の生活に影響を及ぼしてきた献身的な兄弟姉妹がたくさんいるからです。そうした人たちの熱意と決意、準備と愛に、わたしたちはどれほど感謝していることでしょうか。

わたしたち家族を助けてきてくれた、教会の至る所で熱心に奉仕する、主の無数の僕たちに感謝しています。

■
筆者はアメリカ合衆国ネバダ州在住です。



生活を変えるために努力する

「わたしたちが神の王国で奉仕する平易な方法に目を向け、自分自身の生活を含め、人々の生活を変えるために常に努力を傾けることができますように。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老
「おお、賢くありなさい」
『リアホナ』2006年11月号, 20

エレミヤ

「エレミヤは困難な時代と場所で生きた人ですが、主はエレミヤに『末日にイスラエルが集合するときに、希望にあふれる時代が来ること』をあらかじめお見せになりました。』¹——中央扶助協会会長 リンダ・K・バートン

わたしは、エルサレムに程近いアナトテの祭司であるヒルキヤの息子です。わたしが青年のとき、「主の言葉がわたしに臨んで言」われました。

「わたしはあなたをまだ母の胎につくらないさきに、あなたを知り、あなたがまだ生れないさきに、あなたを聖別し、あなたを立てて万国の預言者とした。」

わたしはその召しに応じる備えができていないと感じたので、こう答えました。「わたしはただ若者にすぎず、どのように語ってよいか知りません。」

主はお答えになりました。「あなたはただ若者にすぎないと言ってはならない。だれにでも、すべてわたしがつかわす人へ行き、あなたに命じることをみな語らなければならない。」

彼らを恐れてはならない、わたしがあなたと共にいて、あなたを救うからである。」そして主は「〔み手を伸べて、〕わたしの口につけ」、主の言葉をわたしの口に入れられました。²

わたしは紀元前 626 年から 586 年までの 40 年間、ヨシヤ王、エホヤキム王、ゼデキヤ王の治世にエルサレムで預言しました。³ わたしはモルモン書

の預言者リーハイと同時代の預言者です。わたしたちはともにエルサレムの民の悪事を強く非難し、その偉大な都市の滅亡を預言しました。⁴

主は、わたしの預言を「巻物」に書き記すように命じられました。⁵ エホヤキム王は、その預言を耳にしたとき、巻物を焼き尽くしました。主はわたしに再びその預言を書き記すよう、そしてさらに多くの言葉を加えるように命じられました。⁶

わたしは主の言葉を宣べ伝える間、絶え間ない反対に直面しました。つかさの長の息子パシュルは、わたしを打ち、足かせにつなぎました。民衆は

わたしが教えたことのために、わたしを殺そうとしました。わたしは預言者として人に受け入れられることはなく、何度も危険な目に遭い、牢に入れられました。わたしは本当に大きな悪がはびこる時代に生まれました。⁷

しかし、このような苦難のただ中に生きていたにもかかわらず、主は終わりの日にイスラエルの民が集められること、主が「その〔民の〕心に」主の律法を書き記し、「町からひとり、氏族からふたり」をシオンへ連れて行かれることを預言するようわたしにお命じになりました。⁸

困難なときでさえも主の言葉を宣べ伝え続けることにより、福音に対する内なる決意によって平安がもたらされることを学びました。わたしたちは皆、主と個人的な交わりを持つとき、試練と苦難の中にあっても、希望を持つことができるのです。

注

1. リンダ・K・バートン「イエス・キリストの贖罪を信じる信仰は、わたしたちの心に記されているでしょうか。」『リアホナ』2012年11月号、111 参照
2. エレミヤ 1:1-9 参照
3. 聖句ガイド「エレミヤ」の項、scriptures.lds.org 参照
4. エレミヤ 6 章:1 ニーファイ 1:13、18-20 参照
5. エレミヤ 36:2
6. エレミヤ 36:23-32 参照
7. エレミヤ 20:2:26:8:38:6 参照
8. エレミヤ 31:33:3:14



「^{すい}翠^{ぎょく}玉白菜」

エレン・C・ジェンセン

台湾で伝道していたとき、わたしと同僚は、準備の日に台北にある国立故宮博物院で少しの時間を過ごしました。そこで最も注目を集めていたものは、「翠玉白菜」と呼ばれる芸術作品でした。非常に多くの人々がその作品を称賛していましたが、わたしが目にしたのは翡翠を彫って作った、ただの白菜でした。確かに見事な出来栄えだったのですが、わたしはきっと大切な何かを見落としたのでしょう。

博物館の見学を終えたとき、わたしは「あの翠玉白菜だけど、どう思う?」と同僚に聞きました。

「素晴らしい芸術作品だと思うわ!」

「どうして? ただの白菜よ。」わたしはそう聞き返しました。

「冗談よね? あの白菜はわたしの人生を象徴しているのよ!」と同僚が大きな声で言いました。

「あの白菜が?」

「そうよ! 知らない? あの白菜の物語。」

「そうみたいね。」

同僚はその物語を話してくれました。彼女の言うとおりでした。それはわたしの伝道の、そしてわたしの人生を象徴するものとなりました。

翡翠の彫刻に高い価値がつくには、翡翠は完全な単一色でなければなりません。完璧な翡翠から作られた彫刻が高い値段で売られるのです。それと言うのも、完璧な翡翠を見つけ

ることはほとんど不可能だからです。ところが、あの「翠玉白菜」は一方の端が緑色で、もう一方は白色です。そして、亀裂とひだがあります。そのような翡翠の塊に時間を浪費する熟練した彫刻家はいなかったのです。彫刻の巨匠と中国人が呼ぶ人物が現れるまでは。

この翡翠が口を利けたとしたら、わたしは翡翠がこの初めての彫刻家と交わす会話を想像することができます。彫刻家が翡翠を手にとって見えています。

「どんな御用ですか?」と翡翠は尋ねます。

「彫刻するための翡翠を探しているのです」と彫刻家は答えるでしょう。

「それでしたら、別の翡翠を探してください。わたしには価値がありません。二つの異なる色が深く絡み合っていて、その色を分けることは

決してできないのです。わたしには亀裂とひだがあります。ですから、わたしが価値を持つことなどまったくないでしょう。あなたの時間を無駄にしないでください。」

「おお、あなたは愚かな翡翠です。わたしを信頼してください。わたしは彫刻の巨匠なのです。あなたを傑作に仕上げましょう。」

翠玉白菜を非常に素晴らしいものに行っているのは、この名前が明かされていない巨匠が、二つの色、亀裂、そしてひだなどの翡翠の弱点を利用して白菜を実物そっくりりに仕上げたことです。乳白色の部分は白菜の茎になり、亀裂とひだは葉に生命を与えています。この翡翠に「弱点」がなければ、こんなに本物らしく見えることはなかったでしょう。

この芸術作品はその美しさのゆえに、中国の皇族の一員に対する贈り物



主は心を見られる

「この世では道徳心よりも外見の美しさや魅力が重要視されることがよくあります。しかし、遠い昔に主が預言者サムエルに与えられた勸告が聞こえてきます。『わたしが見るところは人と異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る。』(サムエル上16:7)

トーマス・S・モンソン大管長

『翼に灰色の交じったカナリア』『リアホナ』2010年6月号, 4



となりました。そして、台湾のこの博物館に展示されるまでは、数々の美しいアジアの宮殿の広間で注目を集めてきました。

この物語から、わたしはエテル12章27節を思い出します。「もし人がわたしのもとに来るならば、わたしは彼らに各々の弱さを示そう。……わたしの前にへりくだるすべての者に対して、わたしの恵みは十分である。もし彼らがわたしの前にへりくだり、わたしを信じるならば、そのとき、わたしは彼らの弱さを強さに変えよう。」

あの翠玉白菜を見た後で、この聖文が新たな光を放つようになりました。いまだ彫られている途上にあることを

除いては、わたしたちは皆この翡翠の作品に似ています。わたしたちは、弱さを利用して強さに変えてくださる彫刻の巨匠、すなわちイエス・キリストを信頼しなければなりません。わたしたちは不完全な物の見方で自らの不完全さに注目し、絶望することがあります。決してふさわしくなれないと考えるからです。しかし、わたしたちの救い主イエス・キリストは、わたしたちがそのようになれると見ておられます。主の贖い^{あがな}がわたしたちの人生に力を及ぼすとき、主はいつの日かわたしたちを王の王とともに住む優れた作品に仕上げてくださるのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

どのようにしたら主がわたしを御覧になるように自分を見ることができのでしょうか？

主がわたしたちを御覧になるように自分自身を見ることは大切です。主は、わたしたちを大いなる可能性と大いなる価値を持った神の子供として見ておられます。しかし、わたしたちは自分の弱点ばかりに目を向けてしまうことがあります。天の御父は、わたしたちが弱点を気に病むためではなく、美しい傑作になるためにわたしたちを創造されました。イエス・キリストの福音と贖いにより、わたしたちは弱点を克服することができるのです。

主がいかにして不完全な人々を通してその業を行われたかを学ぶために、以下の聖文を研究してみましょう。出エジプト4:10-12; エレミヤ1:4-10; 1ニーファイ4:1-6; アルマ26:12; 教義と聖約35:17-18。

リゾチカの心臓

マリナ・ペトロバ

夫とわたしは1995年にロシアで教会に入り、次の年にスウェーデン・ストックホルム神殿で結び固めを受けました。幼い娘二人もわたしたちに結び固められました。その2年後、祝福されてもう一人の娘、リゾチカが生まれました。生活は順調そのものでした。わたしたちは皆幸せでした。しかし、生まれて2日たつと、わたしたちの赤ちゃんは飲み込むことが困難になり始めました。1か月後に体重は300グラムしか増えていませんでした。

小児医療センターの職員は、もっと頻繁にミルクを飲ませるように言いましたが、リゾチカは飲みたくても飲み込めないことがわたしには分かりました。結局、夫が彼女を市民病院に連れて行きました。医師はすぐに心臓に先天的な異常があると診断を下しました。1枚の心臓の弁が働かず、肺に送られる血流が十分でないために、息をしたり、飲んだりするのが困難になっていたのです。

娘には手術が必要でしたが、ロシアでこの手術を受ける子供はどんなに幼くても2歳以上でした。娘はまだ1か月です。医師は娘に対する処方を書き、後でもっと大きくなってから手術をしようと言いました。

1か月後、リゾチカの容体が急激に悪化したので、わたしたちは慌てて彼女を病院に連れて行きました。車で病院に向かっている間、わたしは娘を抱きかかえていました。彼女はあたか

も助けを請うかのようにわたしを見ていました。教会の会員でなければ、わたしはどうすればよいか分からなかったでしょう。しかし、夫とわたしは主を信頼し、全てはうまくいくと固く信じていました。わたしは彼女をあやそうとして言いました。「何も怖がることはないのよ、わたしの赤ちゃん。神様はわたしたちを愛していらっしゃるわ。神様が助けてくださるから大丈夫よ。」

やっとの思いで到着しました。わたしは娘をしっかりと抱きかかえて、入院受付窓口に走り込みました。リゾチカはだんだん目を開けていられなくなり、かすかに息をしているだけでした。わたしは言葉を失いかけていたのですが、医師に子供のことを話すと、病院の職員が彼女を集中治療室に連れて行きました。医師は肺が膨れ始めていると言い、娘を人工呼吸器につなぎました。

次の日、心臓外科部門の医師と面談しました。彼は、「わたしはこの種の手術をしてきましたが、もう少し大きい子供だけです。お子さんは何か月ですか」と聞きました。

「2か月です」と答えました。

「お子さんは既に重症です。とても小さいうえに、肺の膨張が症状を悪くしていますが、もうぐずぐずしてはいられません。小さな子供にこのような手術を行ったことは一度もありませんが、わたしができることは全てやって

みましょう。人工の二重弁を購入していただかなければなりません、とても高価で、約2,100ドルかかります。手術は4日後に行います。」

どうしたらよいのでしょうか。わたしたちはもちろん、知り合いの誰もそのような大金を持ってはいないのです。しかし、わたしたちの窮状は注目を集めることとなり、人々の寛大さと主の憐れみにより、必要なお金を確保することができました。夫はわたしたちの子供の命を救うために必要な弁を購入しました。

支部の全ての兄弟姉妹が小さな娘のために祈り、断食してくれただけでなく、市全体の宣教師と多くの末日聖徒もそのようにしてくれました。わたしたちは彼らの支えを感じました。手術の日に待合室で座っているときに、わたしたちは聖霊の存在と兄弟姉妹の祈りを感じました。彼らが近くにいることを知りました。そして神がともにいてくださり、外科医を導いてくださいました。神はわたしたちから離れるようなことはなさらず、全ては順調に進みました。

手術を終えて外科医が出てきたとき、幾分当惑した様子でこう言いました。「何もかもうまくいきました。わたしたちは弁を埋め込みました。どうしてかは分かりませんが、とにかく手術は成功しました。」でも、わたしたちはどうして成功したかを知っています。天の御父が外科医を祝福してくださったのです。



祈りが応えられないと 思えるとき

「強く望んでいることについて心から祈っていて、思いどおりの答えが返ってこないときは、とてもつらいものです。従順な生活を送り、大きな信仰を心から働かせたのに、どうして望んでいた結果が得られなかったのかを理解するのは難しいものです。救い主はこのように教えられました。『あなたがたがわたしの名によって父に求めるもので、あなたがたにとって必要なものは何でも、与えられるであろう。』（教義と聖約 88：64，強調付加）長い目で見ると何が最良なのか、何が必要なのか見分けるのが難しいときがあります。しかし、神が皆さんの生涯で行われることは永遠の観点から見て皆さんのためになるということを受け入れると、人生が楽になります。』

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
「祈りという天^{ミカド}との賜物を用いる」
『リアホナ』2007年5月号、9-10

リゾチカは、心臓と肺の膨張が落ち着くまでさらに3日病院にとどまりました。開胸手術の傷口は薄い膜だけで閉じられていたので、数日後に再び手術を行って胸と内臓を閉じました。ほとんどの医師は、娘が一命を取り留めるとは思っていませんでしたが、わたしたちは天の御父とその力を信じ、御心^{みこころ}であるなら娘は快復すると信じていました。

神だけがリゾチカをわたしたちのもの

とに返すことがおできになったのです。日に日に、娘は良くなっています。娘はそれから1か月間入院し、そして今、わたしたちとともに家にいます。

神は奇跡の神です。神はわたしたちの祈りをお聞きになり、つらいときには、わたしたちを支えてくださいます。試練はわたしたちの信仰を強め、わたしたちに信じることを、希望、そして愛を教えてください。■

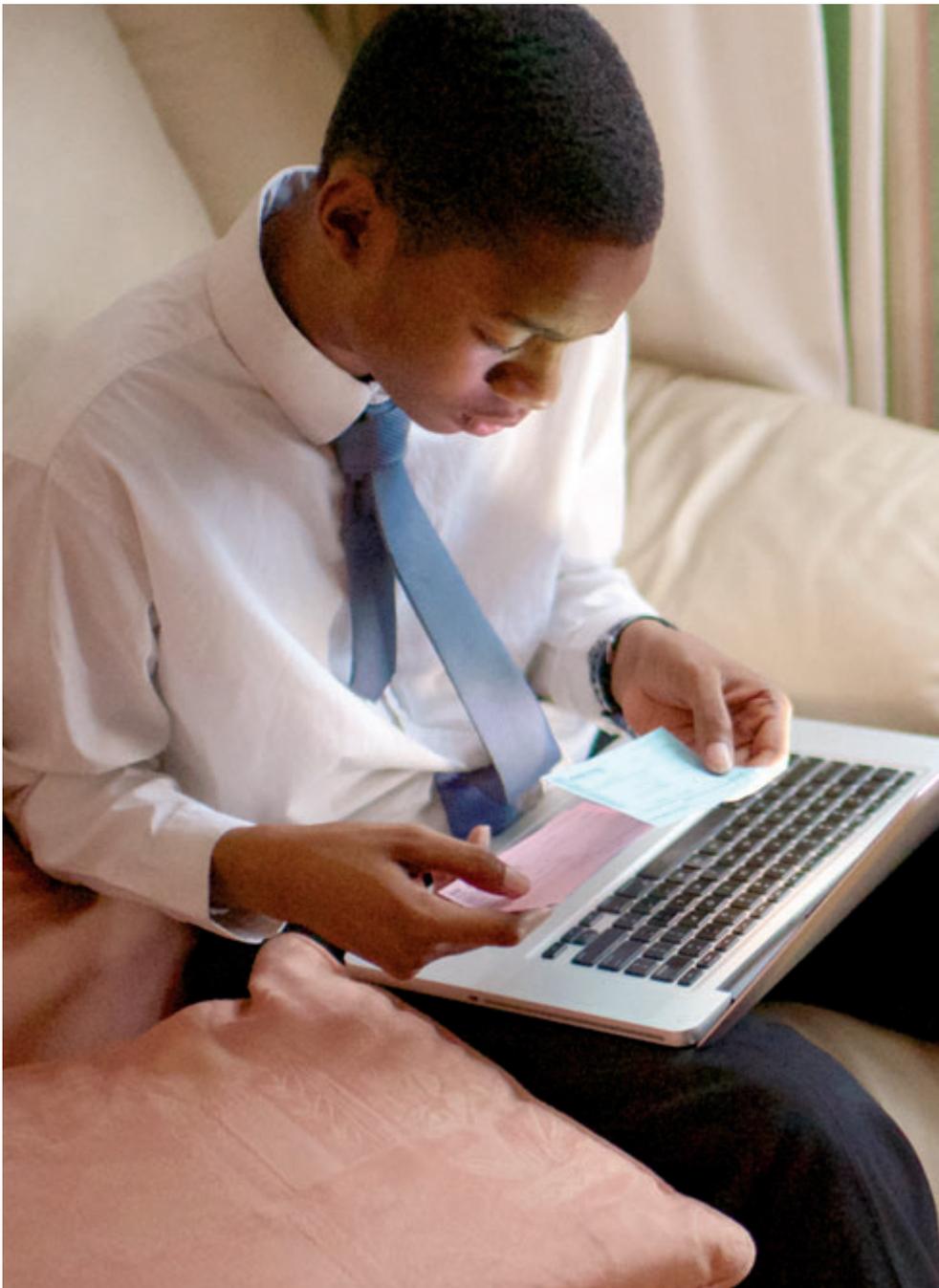
著者は現在ベルギー在住です。



十二使徒定員会
デビッド・A・
ベドナー長老

伝道, 家族歴史 および神殿

活動



1837年4月6日に
カートランド神殿で
開催された厳粛な
集会で、預言者ジョセフ・スミスは次のように述べています。
「結局のところ、最も偉大で
最も重要な義務は福音を宣べ
伝えることです。」¹

それからほぼ7年後の
1844年4月7日、ジョセフ・
スミスはこう宣言しています。
「わたしたちがこの世で神から
受けている最も大きな責任
は、死者を捜し求めること
です。使徒〔訳注——ヘブル人への手紙の著者については諸説あるが、ジョセフ・スミスは、著者がパウロであることを明言している〕は、『わたしたちなしには彼らが完全な者とされることはない』と言っています〔ヘブル11:40参照〕。時満ちる神権時代、すなわち、人の救いのために創世の前にイエス・キリストから与えられた約束が果たされる神権時代には、子孫と死者を結び固める結び固めの力が、わたしたちの手の中になければなりません。」²

福音を宣べ伝えることと死者

福音を宣べ伝え、
死者を捜し求めることは、
互いに補完し合う
一つの偉大な業であり、
誠実に真理を探究する人の心を変え、
先祖に向け、清めることを目指す
愛の働きです。



を捜し求めることの両方が、どうすれば同時に神が御自身の子供たちに与えられた最も偉大な務めや責任となり得るのかと不思議に思う人がいるかもしれません。こういった教えが末日の救いの業の統一性と一体性を際立たせているということを示すのが、今回のわたしの目的です。伝道の業、家族歴史、および神殿の業は一つの偉大な業を補完し合い、密接に関係している側面があり、「それは、時の満ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめようとしたのである。」(エペソ 1:10)

わたしたちが末日の驚嘆すべき救いの業に

ついてともに考えるとき、聖霊の力に支えられるよう祈っています。

心と、神権の儀式

福音を宣べ伝えることと死者を捜し求めることは、わたしたちの心と、神権の儀式の両方に関連する、神から与えられた二つの責任です。主の業の真髄は、正当な神権の権能によって執行される聖約と儀式を通して、心を変え、向け、清めることです。

心という言葉は、標準聖典の中で1,000回以上用いられ、個人の内面的な思いを象徴しています。したがって、わたしたちの心、すなわちわたしたちの望み、愛情、意図、動機、態度



長々とした「なすべき」福音のリストに列挙されたことを全て行ったり、義務的に果たしたりしても、わたしたちの顔に神の面影を受けたり、心の中に大きな変化を経験したりすることができるとは限らないのです。

の全てを合わせたものが、わたしたちの現在の姿を明らかにし、わたしたちの将来の姿を決めるのです。

伝道活動に関する主の目的は、全ての人々にキリストのもとへ来て、回復された福音の祝福を受け、キリストに対する信仰を通して最後まで堪え忍ぶよう勧めることです。³ わたしたちは、単に末日の教会の数字に表れる規模や力を増すために、福音を分かち合うのではありません。むしろ、わたしたちは御父の幸福の計画が現実のものであり、独り子イエス・キリストが神の御子であられ、救い主の贖いの犠牲が有効であることを宣べ伝えるという、神から与えられた責任を果たそうとしているのです。全ての人々に「キリストのもとへ来て」(モロナイ 10:30 - 33 参照)、心の「大きな変化」を経験するよう勧めること(アルマ 5:12 - 14 参照)、また現世にあってまだ聖約を交わしていない人々に救いの儀式を提供することが、福音を宣べ伝える基本的な目的なのです。

生者と死者の昇栄を確立することが、神殿を建て、身代わりの儀式を行う主の目的です。わたしたちは、個人あるいは家族として思い出に残る経験をするだけのために聖なる神殿で礼拝するものではありません。むしろ、わたしたちは全人類家族に救いと昇栄をもたらす儀式を提供するという、神から与えられた責任を果たそうとしているのです。子孫の心に、先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えられた約束を植え、子孫の心を自らの先祖に向け、家族歴史探求と神殿における身代わりの儀式を行うことは、霊界にいて、まだ聖約を交わしていない人々を祝福する働きです。

神権の儀式は神聖の力に通じる道です。

「また、この大神権は福音をつかさどり、王国

の奥義の鍵、すなわち神の知識の鍵を持つ。

それゆえ、この神権の儀式によって神性の力が現れる。

また、神権の儀式と権能がなくは、肉体を持つ人間に神性の力は現れない。」(教義と聖約 84:19 - 21)

この聖句の持つ厳粛な意味を考えてください。人はまずバプテスマの門をくぐり、聖霊の賜物を受け、次に、救い主とその贖いの祝福に通じる聖約と儀式の道を力強く進み続けねばなりません(2 ニーフай 31 章参照)。神権の儀式は、十分に「キリストのもとへ来て、キリストによって完全にな[る]」うえで欠かせません(モロナイ 10:30 - 33 参照)。儀式がなければ、人は主の無限にして永遠の贖いの犠牲を通して得られる祝福の全て(アルマ 34:10 - 14 参照)、すなわち神性の力を受けることができないのです。

主の業は、心、聖約、神権の儀式に焦点が当てられた一つの壮大な業です。

言外の意味

この神聖な教義は、教会においてわたしたちが行う業に対する二つの言外の意味を伝えていきます。

第1に、わたしたちは救いの業を構成する個々の分野とそれぞれの分野に関連する指針や手順を強調しすぎる傾向があるかもしれません。わたしたちの多くが、主の業の特定の側面にあまりにも排他的かつ熱狂的に重点を置きすぎるため、広範囲に及ぶ救いの働きの完全な力を得損なっているのではないかと思うことがあるのです。

主は全ての事柄をキリストにあって一つに帰せしめようとしておられるのに、わたしたちはしばしば、自らの理解と視野を狭めるよう

な方法で、分割し、特殊化することが多々あるのです。極端な場合には、個人がふさわしい状態で聖約を交わし、儀式を受けることよりも、プログラムをこなす、統計的な数字を誇張することを優先してしまいます。そのような取り組み方は、^{きよ}聖め、喜び、永続的な改宗、霊的な力、「心を神に従わせ[る]」ことによって得られる守りを制約します（ヒラマン3：35）。長々とした「なすべき」福音のリストに列挙されたことを全て行ったり、義務的に果たしたりしても、わたしたちの顔に神の面影を受けたり、心の中に大きな変化を経験したりすることができるとは限らないのです（アルマ5：14 参照）。

第2に、エリヤの霊は福音を宣べ伝える業の中心を成し、この業に欠かすことができません。恐らく、完全な福音がこの末の日に地上に回復され、一連の出来事が起こったまさしくそのときに、主はこの真理を強調しておられたのだと思います。

聖なる森で、ジョセフ・スミスは、永遠の父なる神とイエス・キリストにまみえ、言葉を交わしました。この示現は「時満ちる神権時代」（エペソ1：10）の到来を告げ、ジョセフは神会と絶えざる啓示の本質について知ることができました。

それからおよそ3年後、1823年9月21日の夜、熱烈な祈りへの答えとして、ジョセフ・スミスの寝室は光に満たされ、「真昼の時よりも明るく」になりました（ジョセフ・スミス一歴史1：30）。一人の方が寝台の傍らに現れ、ジョセフの名を呼び、「自分は神の前から遣わされた使者であること、



わたしたちは、
個人あるいは家族として
思い出に残る経験をするだけのために
聖なる神殿で礼拝するのでは
ありません。
むしろ、わたしたちは全人類家族に
救いと昇栄をもたらす儀式を
提供するという、
神から与えられた責任を
果たそうとしているのです。

その名はモロナイであること」を告げました（ジョセフ・スミス一歴史1：33）。モロナイは、ジョセフにモルモン書の出現について教えました。次に、欽定訳聖書で使われている言葉とは少し異なっていましたが、旧約聖書のマラキ書から聖句を引用しました。

「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤの手によってあなたがたに神権を現そう。……彼は先祖に与えられた約束を子孫の心に植え、子孫の心はその先祖に向かうであろう。そうでなければ、主の来臨の時に、全地はことごとく荒廃するであろう。」（ジョセフ・スミス一歴史1：38 - 39）

若い預言者へのモロナイの教えは、結局、二つの主要なテーマを含んでいました。（1）モルモン書と（2）マラキの言葉です。マラキの言葉は、「神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた万物」の更新に際してエリヤが果たす役割を預言していました（使徒3：21）。したがって、回復の幕開けとなる出来事は、神会に

関する正しい理解を明らかにし、絶えざる啓示が現実のものであることを明らかにし、モルモン書の重要性を強調し、生者と死者のための救いと昇栄の業の先駆けとなったのです。

心を変えるモルモン書の役割と心に向けるエリヤの霊の役割について考えてください。

主の御霊^{みたま}とともに、モルモン書は「世の人々を改宗させるために神から与えられた、比類のない最高の道具です。」⁴ この「回復」された聖典は、わたしたちの宗教のかなめ石であり、人を救い主のもとへ導くときに欠かすことができま



福音を宣べ伝えることと死者を捜し求めることは、わたしたちの心と、神権の儀式の両方に関連する、神から与えられた二つの責任です。

せん。モルモン書はイエス・キリストのもう一つの証です。かつてないほどこの世での心^{あかし}が冷えた世の中において、贖い主の神性を証する極めて重要なものです。人がモルモン書を読み、研究し、その書物が真実かどうか心から祈るときに、心に変化が生じます。

エリヤの霊は、「家族の神聖さを証する聖霊の現れ」です。⁵ この聖霊の際立った影響力は、御父の幸福の計画について力強く証し、人々を引き寄せ、過去であれ、現在であれ、自分たちの先祖や家族を捜し、彼らを大切にしよう導きます。エリヤの霊は、教会の内外にあって、人々に影響を与え、その心を先祖に向けさせます。



6本の動画がこの記事に付随しています。このQRコードをスキャンするか、lds.org/go/hearts1にアクセスすると、最初の動画を見ることができます。この原則を示す話の動画です。

何よりもまずモルモン書の霊的な力によって心に大きな変化が得られること、そしてエリヤの霊によって先祖に心が向けられること、この二つの強力な組み合わせを、わたしたちがもっと効果的に活用する時は、既に来ています。自分たちの先祖との結びつきを強めたいと切望することには、神の言葉の力を受け入れ、自らの信仰を堅固にするよう人を備える力があります。人は、心を先祖に向けることで、他に類を見ないほど、サタンの影響をはねのけ、改心を強めることができます。

2番目の動画を見ましょう。この原則を示す話を視聴することができます。

原則

心を変え、心に向けた結果として得られる霊的な力について、これから4つの原則を確認したいと思います。

1. **心と改宗。**先祖に心に向けることが、心を目覚めさせ、大きな変化に備えさせる。そのため、エリヤの霊は改宗の助けとなる。

3番目の動画を見ましょう。この原則を示す話を視聴することができます。

2. **心と定着。**先祖に心に向けることが、大きな変化を経験した心を支え、強める。したがって、エリヤの霊は新しい改宗者の定着の助けとなる。

4番目の動画を見ましょう。この原則を示す話を視聴することができます。

3. **心と再活発化。**先祖に心に向けることにより、それまでかたくなになっていた心が、大きな変化を経験した後に和らげられる。したがって、エリヤの霊は再活発化の鍵である。

5番目の動画を見ましょう。この原則を示す話を視聴することができます。

4. **心と勇敢な宣教師。**心の大きな変化と、心を先祖に向けることを経験した宣教師は、より改心し、聖別された、勇敢な僕^{しもべ}となるだろう。

6番目の動画を見ましょう。この原則を示す話を視聴することができます。

これまで以上によく備えられた宣教師の力が急速に拡大される中、将来の進路や方法を決めるのに、過去の伝道の成功にばかり頼るわけにはいきません。主がテクノロジーやツールに靈感をお与えになったため、わたしたちは伝道活動と家族歴史活動を合体させることから、この神権時代にいまだかつてないほどの恩恵を受けることができます。こうした革新的な技術が、全世界における伝道活動を進展させるためにぜひとも必要とされるまさにこの時期に出現したのは、決して偶然ではないのです。主の業は、心に焦点が当てら



エリヤの霊は、
「家族の神聖さを証する
聖霊の現れ」です。

れた一つの壮大な業です。その心は、神聖な聖約や、神権の儀式によって現れる神性の力に向き、変わっていきます。

まとめと証

主はこう宣言しておられます。「わたしにはわたし自身の業を行う能力がある……。」(2 ニーファイ 27:21) 「わたしは、時が来ればわたしの業を速やかに行う。」(教義と聖約 88:73) わたしたちは主が御自身の業を速めておられるのを目の当たりにしています。

わたしたちは時満ちる神権時代に生き、奉仕しています。わたしたちが生きる際立った神権時代の持つ永遠の重要性を理解すれば、わたしたちが行う業、わたしたちが目指す姿はことごとく変わるでしょう。この末の日に成し遂げるべき救いの業は、壮大で広大、かつ不可欠で速やかに行う必要があるのです。この最後の特別な神権時代に生きる祝福と責任に、わたしたちは皆、どれほど感謝 57 するべきでしょうか。「多く与えられる者からは多く求められ〔る〕^{ほんそん}」ということを知って、どれほど謙遜になるべきでしょうか(教義と聖約 82:3)。

福音を宣べ伝え、死者を捜し求めることは、互いに補完し合う一つの偉大な業であり、誠実に真理を探究する人の心を変え、先祖に向け、清めることを目指す愛の働きです。伝道活動と神殿・家族歴史活動の間に人が引きがちな境界線は、現在、消されつつあります。これは一つの偉大な救いの

業なのです。⁶

求道者やあまり活発に教会に集っていない会員が救いの計画をより深く理解できるよう助けるうえで、神殿・家族歴史活動がどのような役割を果たすのか、分かってきたでしょうか。改宗者の定着に最大の影響をもたらすものの一つが、エリヤの霊であることを認識しているでしょうか。会員と宣教師の両方が、教える人を見つける手段として家族や先祖の物語を分かち合うことで、人々の心が先祖に向かう瞬間の重要性をさらに十分に認めることができるでしょうか。わたしたちが仕える人々が、^{せいさん}聖餐式、死者のためのバプテスマや確認といった儀式にふさわしい状態で参加することにより、もっと頻繁に神性の力にあずかれるよう、彼らを助けることができるでしょうか。

皆さんが心を変え、先祖に向け、清める主の業における務めの重要性を明確に見、誤ることなく聞き、さらには覚えることができますように。■

2013年6月25日に行われた新任伝道部会長セミナーでの説教から。

注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』330
- 2.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』475
- 3.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』1 参照
- 4.エズラ・タフト・ベンソン「キリストに対する新しい証人」『聖徒の道』1985年1月号、7
- 5.ラッセル・M・ネルソン「新たな収穫の時」『聖徒の道』1998年7月号、38 参照
- 6.スペンサー・W・キンボール「永遠の事柄——危険を冒してはいないだろうか」『聖徒の道』1977年5月号、248 参照

家庭

最も大切な学び舎

教会での学びが、
家庭での学びを支えるとき、
福音に沿った生活の堅固な基が築かれます。

「来週レッスンの読書課題を必ず読んできてくださいね。」これは、皆さんがよく耳にする言葉ではないでしょうか。教会でのクラスの最後に、教師が生徒に掛けるお願いの言葉です。

日曜日のレッスンに備えるのはもちろん大切ですが、聖文を研究し、思い巡らす一番の目的が、日曜日に向けてきちんと準備することであるように感じることはないでしょうか。

実際は、その反対であるべきなのです。

教会で行われる全ての「教え、プログラム〔、活動は、〕家庭を中心とし、教会がそれを支えるという形であるべきです。¹これはつまり、本来、教会の集会は、個人や家族の学びを支援するためにあるということです。ゲーリー・E・ステイブンソン管理ビショップは次のように教えています。「教え、学ぶための基本的な場所は家庭です。」² 教えと学びの中心が家庭に置かれるとき、人を改心に導く力が伴います。

これこそが、2014年の年次補助組織訓練「家庭と教会で学び、教える」のメッセージです。この訓練の内容は、annualtraining.lds.orgで視聴できます。「誰も教会や集会所で教えることをないがしろにはしません」と十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は語っています。「これまでずっとそうしてきました。でも、日々の生活の中でも教えることを常に大切にしてほしいのです。」³ 常に学ぶことを家族の日々の生活で実践するとき、「学びの家」の堅固な土台を築くことができます（教義と聖約 88：119）。それによって、あなたも家族も、霊的な避け所と守りが得られるのです。





家庭での学び

いつもすぐに結果が見えるわけではないかもしれませんが、普段の日課の中で教えと学びのちょっとした機会をうまく利用することで、大きな影響を及ぼすことができます。生活の中でその影響に気づいた家族の例をいくつか紹介しましょう。

簡単な機会

「福音に関するテーマについて、かきこまった会話をするのがしっくりこないと感じるときがあります。わたしたちは、何気ない状況で教えることで、本当に恵まれて、子供たちに大切な教えを伝えることができている。また、一日の中で、かきこまった状況

よりも、何気ない状況で教える機会の方がはるかに多いので、子供たちに大切な原則を教えるためにそのような機会をすぐに活用するようにしています。例えば、食料品を買いに行くときは、正直について教えます。子供たちは、教えられたことを生活にどのように

生かせるかが分かると、もっと簡単に原則を学びます。」

モナ・ピランヌエバ (フィリピン)



他の例を、lds.org/go/221014300 のビデオ「何気ない状況で教えることの力強さ」で見られます。





おやつの時間にきずなを深める

「何気ない場面で教えることが、子供たちとの関係を改善するのに役立っています。子供たちが学校から帰った後、台所のテーブルで一緒に座っておやつを食べながら、学校であった出来事について話し合います。たいてい、子供の一人が、友達の言ったことやしたことについて、またそれについてどのように感じたか話し始めます。そのようなときにわたしの証^{あかし}を分かち合い、その状況について子供がどのように感じたかを話し合うことができます。子供たちがリラックスした状態で、率直な対話を重ねていくことで、親は耳を傾けてくれると分かり、親に心からの信頼を寄せるようになれば、いざというときに、重要な事柄についても進んで話してくれるようになると思います。」

リソン・フロスト (ギリシャ)

通学中の会話

「毎朝バスで娘たちを学校に送るので、話す機会がたくさんあります。最近あった出来事ですが、バスの中で口論している夫婦がいるのに気づきました。娘たちはすぐにわたしの方を向いて、わたしが何か言うのを待っていました。わたしは話す代わりに、目の前で起きていることについて娘たちはどう感じるか尋ねました。娘たちは、男の人は奥さんに向かってあんなふうに話すべきでないと思う、と言いました。その後、わたしたちは、結婚や夫婦関係について話し合いました。結局、バスに乗っていた30分が、啓発し、高め合う時間になりました。」

マリオ・ロレンツ (グアテマラ)

他の例を、ids.org/go/231014300 のビデオ「家庭と教会で学び、教える — 家庭」で見られます (4:56 – 5:39)。

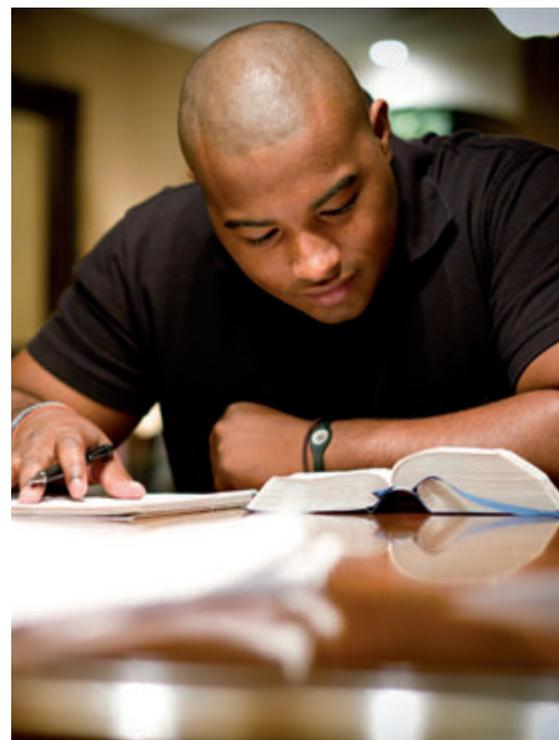




思いやりの輪

「妻とわたしは、子供に教える責任は、指導者でなく、親であるわたしたちにあると分かってきました。でも、指導者がしてくれることに感謝していますし、わたしたちにできることがあれば、手助けしています。わたしたちのワードには、青少年や子供たちに本当に意識を向けてくれる素晴らしい指導者がいます。彼らは、青少年や子供たちが、最大限に可能性を伸ばせるよう、親が築いてきたことの上に、さらに積み上げられるように、できる限りのことを行ってくれます。何回かビショップと面接しましたし、青少年指導者とも良い話し合いができています。子供のことや子供の成長についても彼らによく尋ねるようにしています。子供たちの進歩について頻繁に話し合うことで、わたしたち全員が、一人一人をどのように助けるべきかを理解することができます。」

ジェシー・N・アルムガム (南アフリカ)





キリストは 丘でも家でも 教えられた

「救い主は偉大な教師であられました。……主の教導の業において、ほとんどの時間を教えることに費やされました。そして、ほとんどの場合、会堂以外の場所でお教えになりました。人々がいる場所でお教えになったのです。大きな道や小道、丘の上や海岸や家庭でお教えになりました。」

十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホランド長老
「家庭と教会で学び、教える — 家庭」
(2014年補助組織訓練ビデオ),
annualtraining.lds.org

聖文の力

「聖文を研究することで、キリストやキリストが持っておられる特質について学ぶことができます。それによってキリストのようになることができます。また、聖文を研究することによって、御霊を豊かに受け^{みたま}ることができ、学んだことをどのように生活に生かせるかについて導きや教えを与えられます。そうすることによって、人生のチャレンジや、サタンが仕掛けてくる誘惑に対して備えることができます。生活の中で受けるこの祝福がなければ、神の息子としての可能性を最大限発揮することはできません。」

ネイサン・ウッドワード (イングランド)

教会での学び—— 全ての教師が知っておくべき10の原則

家庭で教え、学ぶ力を強めることに加えて、教会のクラスでの学びも強めることができます。教師が以下の10の原則を応用するとき、生徒は生活の中で改心を深めていくことができます。

1. 親は教師として中心的な役割を持つ。彼らと相談し、生徒の必要を見極め、それらの必要に応じて教える。
2. 御霊によって準備し、教える。御霊に導かれた話し合いを促すような、また生徒に霊的な糧を与えるような質問や学習活動にはどのようなものがあるかを知る。
3. レッスンを教えるのではなく、人を教える。
4. 福音の核となる教義に焦点を当てる。
5. レッスンの内容を全て教えようとするのではなく、一つか二つの重要な原則を教える。
6. 全員を参加させることによって、御霊を招く(教義と聖約 88:122 参照)。
7. 行動するように、力強く勧める。ただ家に帰って読むだけでなく、家に帰って実践するように勧める。
8. 教義について証を述べる。クラスの最後だけでなく、御霊に促されたときはいつでも証する。
9. 福音を実践し、「自分自身の家を整え[る]」(教義と聖約 93:43-44, 50 参照)。
10. 日々の生活の何気ない場面で教え続けられるように、様々な方法を見つける。

これらの原則について詳しく学ぶには、annualtraining.lds.org で年次補助組織訓練を視聴してください。

注

1. 『手引き 第2部——教会の管理運営』1.4
2. ゲーリー・E・スティーブンソン「ワード評議会——わたしたちは皆、ともに働きます」(2014年 補助組織訓練ビデオ), annualtraining.lds.org
3. ジェフリー・R・ホランド「家庭と教会で学び、教える——家庭」(2014年補助組織訓練ビデオ), annualtraining.lds.org

全ての家庭のためのリソース

2014年補助組織訓練ビデオ(annualtraining.lds.org)を活用して、次のようなことができます。

- **あなた自身と家族を強める。** 訓練ビデオを見る際、よく祈りながら、そこで教えられている原則をどのようにあなたの家族の状況に当てはめられるかについて考えてください。
- **あなたのワードを強める。** ステークやワードの指導者の指示に従って、次に開かれるステーク指導者会や、第5日

曜日のワードでの話し合い、評議会などでこの訓練ビデオを見てもよいでしょう。

- **補助組織を強める。** この訓練ビデオには、特に補助組織のために準備された訓練が含まれており、ステークやワードの神権指導者や補助組織の指導者が教会の召しを果たすのに役立てることができます。



これらのビデオを視聴したり、関連する話し合いの資料を参照したりするには、annualtraining.lds.org にアクセスしてください。



水の面に

わたしは不安と絶望を
取り除いてくださるよう
天の御父に懇願してきましたが、
こうした試練がなければ、
御父が導いてくださる
「約束の地」がどこであれ、
そこへ到達することはないでしょう。

ジョン・ワーナー

わたしは大学を卒業してから約半年後、パニックや不安の発作に襲われたり、突然うつ状態に陥ったりするようになりました。このような気分になる原因はまったく分かりませんでした。それは強烈で、わたしの心を衰弱させるものでした。

心が揺らいで落ち着けませんでした。職場では新しい任務に就くと、不安感が強くてじっとしていることができません。思考は支離滅裂になり、動悸が激しくなって心臓が飛び出しそうに感じました。このような状態が数日間続き、仕事から帰ると、ソファに倒れ込む日々でした。気がつくと夜が明け、また仕事に出かけなければなりません。

このような気分が数か月続きました。新しい仕事に就き、専門家の助けを求めた後も、まだ治まりませんでした。

毎朝仕事に行く途中、一日を何とか無事に過ごして妻と娘

のいる家へ帰るために必要な力を祈り求めました。この苦闘には終わりがないように思えて、諦めたくなることもよくありました。何日も、目に涙をためて天の御父に助けを祈り求めました。かつてないほど、心から強く祈りました。わたしがこの試練を理解できるように、またそれを取り除いてくださるよう御父に懇願したのです。

御霊を感じないときには、暗闇と絶望の淵に沈みました。しかし、御霊が失望感から引き上げてくれると、進み続ける自信が湧いてきました。ただし、それは次の祈りまでの短い間でした。食事の祈りや夜寝る前の型どおりの祈りよりもずっと真剣に天の御父に頼るようになりました。その結果、わたしは主をそれまでよりもっと身近に感じるようになりました。

波の上を運ばれて

不安と絶望のさなか、わたしは「大いなる深み」を渡ったヤレドの民についての話を読み直しました（エテル 2：25）。船に乗り込むときの彼らの不安な気持ちについては想像するしかありません。危険な旅になるでしょう。しかし、彼らは「ほかのあらゆる地に勝ったえり抜きの地」へ向かっていることを知っていました（エテル 2：15）。

ヤレドの民の旅について、こう書かれています。

「そこで主なる神は、水の面に約束の地に向かって吹く激しい風を起こされた。そのために、船は追い風を受けて海の波の上を運ばれて行った。

そして船は、砕ける山のような波と、激しい風によって生じたすさまじい大暴風雨のために、何度も海の深みに沈められた。

……そこで彼らは、海の深みに沈むと、主に叫び求めた。すると、主は船を再び水面に引き戻された。

そして、船が海上にある間、風は一度もやむことなく約束の地に向かって吹き続けた。そのために、彼らは追い風を受けて進んだ。」（エテル 6：5 - 8）

これらの聖句は、まさしくわたし自身の生活に当てはまるものでした。わたしも自分の船に乗っており、不安の風に吹きつけられ、うつ状態の波に襲われ、絶望の淵に沈められているように感じたのです。海の「深みに沈〔み〕」、主に叫び求めると、水面に浮き上がりますが、再び沈められてしまうのです。

わたしは 8 節を再び読みました。「風は一度もやむことなく約束の地に向かって吹き続けた。……そのために、彼らは追い風を受けて進んだ。」（強調付加）すると、はっと気がつきました。船を沈ませた巨大な波を起こしたまさにその風が、ヤレド人にとって、旅を進める助けとなったのです。わたしは風と波を鎮めてくださるよう天の御父に懇願してきました。しかし、風と波がなくては、御父が導いてくださる「約束の地」がどこであれ、そこへ到達することはないでしょう。

この聖句はわたしの人生観を変えました。不安とうつ病は天の御父を頼る気持ちを強めました。風と波がなければ、ヤレド人が約束の地へ到達することは決してなかったように、わたしも神をさらに深く知ることは決してなかったことでしょう。

この経験から数年が経ち、今のところ、もはや不安の風に

激しく吹かれることはなく、うつ状態の波に沈められることはなくなりました。しかし、再び嵐あらしに襲われることがあれば、そのときには主に頼り、主に感謝することでしょう。約束の地へ運んでくれるのは穏やかな海ではなく、嵐の海であることを知っているからです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



信仰を決して失ってはならない

「皆さんや皆さんの愛する人が精神的または情緒的問題に直面したとき、どのように対応するのが最も良いのでしょうか。何よりも、天の御父を信じる信仰を決して失わないでください。御父は皆さんが理解できる以上に皆さんを愛しておられます。……

生活に主の御霊みたまを招くために、長年試され信仰を込めて実践されてきたことを忠実に行いましょう。皆さんの霊的な福利について鍵を持つ人々に助言を求めてください。神権の祝福をお願いし、それを大切にしてください。毎週聖餐せいさんにあずかり、わたしたちを完全にしてくださるといふイエス・キリストの贖罪じくざいの約束にしっかりとつかまってください。……

……折れた骨や傷ついた心が癒やされるように、傷ついた精神も癒やされます。神がその修復に携わっておられる間、わたしたち人間は慈悲深く、裁かず、いたわりを持つことによって助けることができます。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホルランド長老

「破れた器のように」『リアホナ』2013年11月号, 40, 41, 42 参照



チリ

における 改宗と変遷

最初のバプテスマが執行されたのは1956年でした。
現在チリには、神殿が一つ、
伝道部が9つ、ステークが74あり、
会員数は60万人近くになっています。

南アメリカ南地域、教会歴史アドバイザー
ネストル・クルベロ

58年の歴史の中で、チリの教会員は、預言者により示された方向に自らの人生をしっかりと沿わせ、進路を変える能力があることを示してきました。この精神のおかげで、過去半世紀の間に教会はこの国で著しい発展を遂げてきました。現在、チリの教会員数は60万人近くを数え、国民の30人に一人が教会員となっています。¹

使徒がチリを訪れる

1851年に、十二使徒定員会のパーリー・P・プラット長老（1807 - 1857年）は、チリに教会を設立する意図をもってバルパライソを訪れました。しかし、プラット長老とその同僚たちはスペイン語を話せず、財源はほとんどなく、この国に信教の自由もなかったため、教会を設立することはできませんでした。



教会運営の学校コレヒオ・A・D・バーマーの教師たちと
4年生の生徒たち。1966年頃撮影。

プラット長老はブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）に次のように提言しました。「モルモン書と幾つかの安価な出版物をスペイン語に翻訳して印刷する必要があります。そうするなら、人々が読める書物を神権者が携えて行くことができ、それによってこれらの国々の扉が開かれるでしょう。神の約束、昔の人々の祈りと信仰、イスラエルの家を回復するために人々に働きかける神の力と御霊^{みなたま}について記された書物を携えて行くのです。」²

教会が設立される

プラット長老の当初の試みにもかかわらず、チリに教会が恒久的に設けられるには、それから100年以上の歳月を要しました。1956年に、ジョセフ・ベントリー長老とベール・オールレッド長老がチリで福音を宣べ伝えるためにアルゼンチン伝道部から派遣されました。当時チリでは宗教に対して以前よりも寛容になっていました。この宣教師たちは、サンティアゴでフォゼリンガム家族の支援を受けました。その家族はパナマから移住し、宣教師が来ることを待ち

望んでいたのです。

チリにおける最初のバプテスマは、1956年11月25日にサンティアゴのカントリークラブのプールで執行されました。オールレッド長老はこう回想しています。「わたしたちは日が昇る前にカントリークラブへ行き、祈りと短い話を組み込んだバプテスマ会を行いました。わたしはガルシア兄弟とともに水に入り、最初に彼に、その後、他の8人にバプテスマを施しました。本当に特別な日でした。わたしたち全員の心に忘れ難い思いとして残っています。……この会員たちはチリにおける教会の開拓者となったことでしょう。わたしは彼らが皆死に至るまで忠実であったと信じています。ガルシア家族、サルダノ家族、ランサロッチェ姉妹がその人たちです。」³

指導者の召し

1959年2月に、十二使徒定員会のスペンサー・W・キンボール長老（1895 - 1985年）がチリを訪れ、地元の指導者を養成することの必要性を強調しました。最初の地元の

指導者の一人は、ロバート・バートン伝道部会長の顧問となったカルロス・シフエンテス兄弟です。後に地域七十人や神殿会長に召されたフリオ・ハラミジョ長老は、次のような経験を語っています。「バプテスマの後で神権会に招かれたとき、シフエンテス兄弟に対するわたしの第一印象は次のようなものでした。その会が始まったとき、説教台の前に立った彼の汚れた黒い爪を見たわたしは、『この人は汚れた手のままで、どうして伝道部会長の傍らで集会の司会ができるのだろうか』と思いました。しかしそう考えたのも、彼が話を始めるまでのことでした。彼の霊性を感じたときに、わたしは他の全てのことを忘れてしまいました。簡潔な言葉で、深遠な福音の概念をわたしたちに教えてくれたのです。

1851年——
パーリー・P・
ブラット長老が
バルパライソを訪れる。
しかし、チリに
教会を設けることは
できない。

▶ 1926年——
メルビン・J・
バラード長老が証会で、
南アメリカにおいて
将来教会が発展して
強くなることを預言する。



▶ 1956年——
最初の宣教師、
ジョセフ・C・
ベントリー長老と
ペーレ・M・
オールレッド長老が
サンティアゴに到着する。
最初のバプテスマが
行われる。



元地域七十人であり現在チリ教会歴史アドバイザーであるエドアルド・A・ラマルティース長老は、教育プログラムについて次のように述べています。「チリの学校は、何千人もの若い人々の学校教育と霊的な訓練に大きな影響を及ぼし、その後何年にもわたって指導者と宣教師の備えに貢献しました。」⁵

チリのセミナー・インスティテュートプログラムは、1972年に始まりました。最初、生徒は週に1回クラスが行われる家庭学習プログラムに参加しました。後に、もっと頻繁にクラスが開かれるようになりました。これらのプログラムはチリの若い人々に祝福をもたらし、彼らが専任宣教師として奉仕する備えをするうえで助けとなりました。最初のセミナー教師の一人であり、後にチリの教会教育システムで働いた

彼は重機の機械工で、土曜日の遅くまで働き、その後で手を洗おうとしたのですが、工場の乏しい設備ではグリースを全て落とすことはできなかったのです。わたしはそのとき、人を外見で判断するのではなく、実際の人となりで評価することを学びました。」⁴

若い世代を強める

1960年代と1970年代にチリの教会が強められたのは、経験豊かな地元の指導者が増加しただけでなく、新たな建築プログラムと教育プログラムのおかげでもありました。これには教会堂の建設に加えて教会の学校やセミナー、インスティテュートの設立が含まれます。

1964年3月に、初めて教会が運営する小学校が2校、チリに設立されました。最終的に幾つかの学校が開校され、登録した生徒数は2,600を超えました。1970年代の終わりから1980年代初めにかけて、適切な公立学校がさらに広範囲にわたって開校されたことから、教会はチリにおける学校の閉鎖を発表しました。

テムコのインスティテュートハウス。
チリにはこのようなインスティテュートハウスが50ある。





1996年にサンティアゴで開催された大会で
チリの4万8,000人の末日聖徒に話をしているゴードン・B・ヒンクレー大管長。

元七十人定員会会員のエドアルド・アヤラ長老はこう語っています。「主は当時の若い人々を選ばれ、そしてその多くが現在、帰還宣教師となり、良い家族を持つ偉大な指導者となっています。……わたしにとって、セミナーとインスティテュートは、国内に非常に多くの紛争があった時代に救いの手段となりました。わたしは教育システムで働くように召されたことを感謝しています。」⁶

最初のステーキ

1972年11月19日に、当時十二使徒定員会会員であったゴードン・B・ヒンクレー長老（1910 - 2008年）が、カルロス・シフエンテス兄弟を会長とするチリ・サンティアゴステーキを組織しました。

ステーキになるための備えには、チリの聖徒たちの人柄と、預言者に喜んで従おうとする彼らの意欲が表れていました。ヒンクレー長老は、ステーキを組織するために数か月前にチリを訪問していました。しかし、面接を行った後で、それは延期されました。当時は多くの人が経済的な問題を抱え

ており、教会員の中に什分の一の律法を守るのが難しい人々がいたのです。

ヒンクレー長老は次のように説明しています。「わたしは6か月後にまた訪問しました。そして、面接をしている間に、信仰が開花しているのを知りました。彼らは再び主の前を誠実に歩んでいたのです。そこでステーキが組織されました。それ以来ずっと彼らは成長し、栄えています。」⁷

国境地域の開拓者たち

現在、チリの最北の都市アリカには、二つのステーキがあります。アリカの最初の改宗者、グラディス・ベナビデス兄弟と妻のファン・ベナビデス姉妹の経験は、チリの全域に教会が設けられるに至った開拓者の精神と神聖な影響力をよく表している一つの例です。

ベナビデス兄弟は1961年に、風が吹いて自分のもとに舞ってきた何枚かの紙によって教会のことを知りました。「それは『モルモン』に関する詳細な記事が掲載されていた、『リーダーズ・ダイジェスト』(Reader's Digest Selections)の

ページであることが分かりました。モルモン
の生活と信条について述べられているもので
した」と、彼は述べています。

その後すぐに、彼は重い病気にかかり、サン
ティアゴで治療を受けることが必要になりま
した。「そこにいる間に、わたしは姉のもとを
訪れ、彼女が教会員になっていたことを知りま
した。」さらに彼はこう続けています。「姉か
ら特別大会に誘われました。わたしは開会の
祈りに耳を傾け、心の中でその言葉に聞き
入っていたとき、全身に大きな喜びを感じ、
聖なる御霊の影響力を知りました。大会が

試練の時期

1970年の選挙で、医師のサルバドル・ア
ジェンデが大統領になって、マルクス主義の
政府を樹立しました。食料品と医薬品の欠
乏、宣教師に対する度重なる嫌がらせ、否
定的なメディアの報道のために、教会員は苦
難を味わいました。

1973年に、経済的危機と社会的危機が軍
事クーデターと独裁政治を招き、その体制が
1990年まで続きました。今日、チリは民主
主義国家として繁栄していますが、その20年
間は教会員にとって苦しい時期でした。軍事



「12歳の少年のとき、わたしは福音の
メッセージを知り、それが真実であるとすぐ
に分かりました。これまで46年が過ぎ、そ
の間、最善を尽くした非常に大勢の指導者
の献身的な働きのおかげで、わたしは祝福
を受けてきました。わたしは新しい世代の
人々を知り、彼らと交わりを深めていく
うちに幸せを感じ、そして預言者たちの
チリに対するビジョンが広がるにつれ、
主がこの国を引き続き祝福してくだ
さるであろうと確信しています。」¹²

ホルヘ・F・ゼバヨス長老、
チリ出身の七十人定員会会員

1957年——
教会がチリで
正式に承認される。

1960年——
大地震が
コンセプションを襲い、
教会が人道支援を
提供する。

▶ 1961年——
チリ伝道部が
アサエル・デルバート・
パーマーを会長として
組織される。



1962年——
サンティアゴで
末日聖徒の
最初の集会所の
献入れ式が行われる。

終わったとき、訪問している幹部と握手できる
ように、宣教師たちはわたしを当時十二使徒
定員会会員であったエズラ・タフト・ベンソン
長老(1899 - 1994年)のところへ連れて
行ってくださいました。」

ベナビデス兄弟はアリカへ戻り、自分が
経験したことをガールフレンドのグラディス・
アギラルに伝えました。彼女が現在の彼の妻
です。数日後、グラディスは自宅のそばを
通り過ぎようとする二人の宣教師を見かけま
した。ベナビデス兄弟はこう言っています。
「わたしたちはすぐに出て行って彼らを探しま
した。そして、1961年7月1日に、わたした
ちは妻の家族と一緒にバプテスマを受けまし
た。現在、子供たちと孫たちも教会員です。
わたしは、主が突風を吹かせてわたしの手に
教会に関する情報を与えてくださったことを
主に深く感謝しています。」⁸

独裁に反対するグループが教会堂と会員を
襲いました。彼らは教会がアメリカ合衆国
政府の利益を代表していると思ったからです。
当時ステーク会長であったアヤラ長老は次の
ように述べています。「わたしたちは中央幹
部に会いたいと思いましたが、そこで、彼らは
わたしたちにこう言いました。『どうか、会員
が教会の中であって秩序を保つことができる
ように、知恵を働かせ、よく祈り、正しいこと
を行ってください。』」⁹

国の経済的苦難と政治的対立が1980年
代初めにチリの社会を分断したにもかかわらず、
教会は急速に発展しました。1970年から
1985年の間に、チリの会員数は1万5,728
人から16万9,361人に増加したのです。

サンティアゴ神殿

1980年に、聖徒たちは祝福されて、チリの



サンティアゴに神殿が建てられるという発表を聞きました。

スペンサー・W・キンボール大管長は神殿用地を奉献したとき、体が非常に弱っていました。しかし、大管長がその場に出席したことは、1959年以來ともに働いてきた南アメリカの聖徒たちに対する愛を実証するものでした。その行事でキンボール姉妹のために通訳をしたアドリアナ・ゲルラ・デ・セプルベダ姉妹は、こう語っています。「わたしは、天使のような顔をした小柄な預言者を見たとき、涙があふれ始め、彼に語りかける言葉が見つ

ホランド長老が第一に重視したのは、主の方法で指導する模範を示すことでした。ホランド長老は新しい指導者の訓練を助け、また何百ものワードと何十ものステークの再組織、廃止、合併を指導しました。国内における教会の発展が急速であったため、この再組織と訓練が必要でした。ホランド長老の指導力はユニットを強化し、チリの教会を将来に備える助けとなりました。

このことに加えて、ホランド長老は、チリにおいて何人かの人々と重要な関係を築きました。当時、地域会長会の顧問であった七十人

1972年——
チリ初の
ステークが
サンティアゴに
組織される。

1977年——
スペンサー・W・
キンボール大管長と
その他の
中央幹部を迎えて、
サンティアゴで
最初の地域大会が
開催される。



◀ 1981年——
宣教師訓練センターが
サンティアゴに
設けられる。



◀ 1983年——
ゴードン・B・
ピンクレー長老が
チリ・サンティアゴ神殿を
奉献する。



かりませんでした。わたしにとって、生ける預言者の傍らに在るのは初めてのことでした。地球上のこの場所で、自分の国で主の代弁者にお会いできることは、とても素晴らしいことでした。」¹⁰

神殿は1983年に奉献され、南アメリカで2番目、そしてスペイン語を話す国で最初の神殿となりました。



チリでのジェフリー・R・ホランド長老

2002年8月に、大管長会は、二つの教会地域を管理するように十二使徒定員会の二人の会員に割り当てを与えました。ダリン・H・オークス長老がフィリピンに、そしてジェフリー・R・ホランド長老がチリに割り当てられたのです。チリにおけるホランド長老の働きと影響力は計り知れないものであり、その感化は何世代にもわたって続くことでしょう。



2010年の地震後に衛生キットを準備しているチリのモルモン・ヘルピングハズスの青少年と成人たち。

チリにおける会員数の推移



チリに関する教会の統計

ワード/支部数 — 622
 ステーク数 — 74
 伝道部数 — 9
 神殿数 — 1 (他に発表済み 1)
 家族歴史センター数 — 99



◀ 1990年 —
チリから
エドアルド・アヤラ長老が
七十人第二定員会に
召される。



◀ 2002年 —
十二使徒定員会の
ジェフリー・R・
ホランド長老が
チリ地域会長として
召される。



▶ 2008年 —
チリから
ホルヘ・F・
ゼバヨス長老が
七十人第一定員会に
召される。

2009年 —
チリ・
コンセプション神殿の
建設が発表される。

のカール・B・プラット長老は、それらの重要な人々との交わりの幾つかについて次のように述べています。「ホランド長老はリカルド・ラゴス〔大統領〕夫妻と親しい関係を築き、幾つかの人道支援プロジェクトを実施しました。ホランド長老はチリにおけるローマ法王庁大使〔カトリック教会の高位の聖職者〕やその他の要人たちと知り合いになりました。』¹¹

将来に対する信頼

パーリー・P・プラット長老とジェフリー・R・ホランド長老の努力、サンティアゴを訪れた最初の宣教師たちの犠牲、カルロス・シフエンテス兄弟などの指導者やその他のチリの初期の開拓者たちの献身が、半世紀以上の間に教会に加入した何十万もの人々の信仰と献身と組み合わせられて、チリにおける教会の強固な基盤を築いたのです。現在、国内に一つの神殿（もう一つが発表済み）、一つの宣教師訓練センター、9つの伝道部、74のステークがあります。キリストのもとに来るように全ての人を招く霊的な業において、その将来は希望に満ちています。■

注

1. *Deseret News 2013 Church Almanac*, 454 参照
2. *Autobiography of Parley P. Pratt*, スコット・フェイサー・プロクター, マウリネ・ジェンセン・プロクター共編 (2000年), 504
3. ベーレ・オールレッド。ネストル・クルベロ, *LDS in South America: Chile Sur*, 第1巻 (2008年), 6で引用
4. フリオ・ハラミジョ。ネストル・クルベロ, *LDS in South America: Chile*, 第1巻 (2006年), 4-5で引用
5. エドアルド・アドリアン・ラマルティエス・アギラ。著者に語った歴史の要約, 2013年11月
6. エドアルド・アヤラ。ネストル・クルベロ, *LDS in South America: Chile*, 第1巻 (2006年), 44, 45で引用
7. ゴードン・B・ヒンクレー。ロドルフォ・アセバド・A, *Alturas Sagradas: Templo de Santiago de Chile*, 100で引用
8. ネストル・クルベロ, "Blossoming in the Desert," *Church News*, 1996年11月9日付, 8-9
9. エドアルド・アヤラ。ネストル・クルベロ, *LDS in South America: Chile*, 第1巻 (2006年), 33で引用
10. アドリアナ・ゲセラ・デ・セプルベダ。ネストル・クルベロ, *LDS in South America: Chile* (2006年), 16で引用
11. カール・B・プラット。ネストル・クルベロ, *Colombia: investigación histórica*, 第1巻 (2010年), 16で引用
12. ホルヘ・F・ゼバヨス。著者宛ての手紙, 2014年1月



中央若い女性会長会
第一顧問
キャロル・F・
マッコンキー

慎み深さを 選ぶ 勇気



徳高い選択をすると笑われる世の中であって、
息子や娘が慎み深さを選ぶ勇気を持つ助けとして、
わたしたちは彼らに何を教えることが
できるでしょうか。



どうして慎み深さがそれほど重要なのでしょうか。
スカート丈や衣服のネックライン、Tシャツが、
どうして主にとって問題なのでしょう。わたしは
5人の娘と2人の息子の母親ですから、皆さんが想像すると
おり、家庭では時折慎み深さが話題に上りました。しかし、
ここ何年かでわたしは、慎み深さについて教える最善の方法
は、教義を教え、良い模範を示すことであると学びました。
教義は、どうして慎み深さがそれほど重要なかを子供たち
が理解する助けとなります。また、わたしたちの模範は、慎
み深さが幸せをもたらすという祝福を実際に示すことになる
のです。

慎み深さとは何でしょうか

慎み深さは神から与えられた原則であり、この原則はわた
したちが現世で自分の体を適切に用いることを学ぶのに役
立ちます。『真理を守る』の中で、慎み深さは次のように定
義されています。「慎み深さとは服装、身だしなみ、言葉遣
い、行動に現れる謙遜で上品な態度を指します。」¹ 慎み深
さは自慢するものではなく、誇るものでもありません。慎み
深い人は、自分の体や行動を利用して世の人々の賛同を得よ
うとしたり、自分の実際の成果や想像上の成果、または自分
の好ましい特質に注意を引こうとしたりしません。

ここで紹介する慎み深さの原則は、男性にも女性にも、
息子にも娘にも当てはまるということに留意してください。
また、わたしたちは慎み深さについて教え、模範を示すとき
でさえも、丈の短いスカートをはいている人や、「カラフルに
髪を染めて、あちらこちらにピアスをたくさん着けた」² 人を
決して非難しないということに留意してください。わたした
ちは主が定められた標準に忠実であり続けながら、常に、人
に対して思いやりとキリストのような愛の模範を示すのです。

わたしは証^{あかし}します。慎み深い外見と行動をするという選
択は、わたしたちが神の息子、娘としての自分の本質を理解
していて、聖なる場所に立つことを選んできたという力強い
メッセージを送るものです。

わたしは次の聖句が大好きです。「あなたがたは神の宮で
あって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らない
のか。……神の宮は聖なるものであり、そして、あなたがた
はその宮なの……である。」(1コリント3:16-17) わた
したちの体は自分の霊の宮です。わたしたちはこの体の宮
に聖霊を伴侶としてお招きします。わたしたちは慎み深い服
装をし、慎み深い態度で行動することを選択するとき、永遠
の父なる神と御子イエス・キリストについての証^{あかし}を身にまど
い、その証^{あかし}に従って生活していることになると、わたしは信じ
ています。わたしたちは自分がキリストの弟子であること、
そしてキリストの福音に従って生活していることを自分の外
見によって証^{あかし}するのです。

どうして慎み深いことが重要なのでしょうか

わたしたちは善と悪が存在する世界に住んでいます。そし
て、義にかなった目的のためにも、邪悪な目的のためにも、
自分の体を用いることが可能です。しかし、わたしたちは、
自分の尊い体がわたしたち一人一人に神から与えられた賜^{たま}
物であることを知っています。体は神聖なものです。十二使
徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は次のように教えて
います。「救いの計画を知り理解する人々にとって、肉体を
汚すことは背きの行為であり〔モーサヤ2:36-37参照〕、
わたしたちの本質が神の息子、娘であるという真実を否定
することです。」³ わたしたちは、神の輝かしい目的を果たす
ために神の手に使われる者となれるように(アルマ26:
3参照)、自分の体を大事にして守る選択をします。救い主

のために、救い主の業を行いたいと望むなら、自分自身にこう問いかけてみなければなりません。「救い主が自分のそばに立たれたら、わたしは自分が着ている服を心地よく感じるだろうか」と。

服装、外見、思い、行動における慎み深さは、わたしたちが自分の交わした聖約を理解していることを証明するものです。聖約は、わたしたちが神のみもとへ戻る備えをする際に祝福をもたらし、わたしたちを守り、力を与えるものです。わたしたちはバプテスマを受けたときに、この世から出て、神の王国に入りました。わたしたちにとって全てのことが変わったに違いないのです。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように教えています。「神の王国にいることを選ぶことにより、わたしたちは自分を世から切り離します。隔離するものではありません。わたしたちは慎み深い服装をし、清い思いを持ち、きれいな言葉遣いをします。」⁴

慎み深さは、神のみもとを目指して歩むときに聖約の道に安全にとどまる助けとなる原則です。服装と外見、また思いと行動における慎み深さは、神聖な神殿の聖約を交わし、それを守る備えをする助けとなります。アダムとエバを祝福し、守るために、神は、彼らを園から外に送り出す前に、体を覆う皮の衣を与えられました。同様に、神はわたしたちに現世における聖約の覆いを与えてくださっています。それは神聖な神殿ガーメントによって象徴されています。

慎み深さのもたらす祝福は何でしょうか

清く徳高い選択をすると笑われ、あざけられる世の中であって、息子や娘が慎み深さを選ぶ勇気を持つ助けとして、わたしたちは彼らに何を教えることができるでしょうか。彼らが目にしているのは、わたしたちが自分の体を利用して注意を引こうとしている姿でしょうか、それとも神をあがめようとしている姿でしょうか。

思い、言葉、外見、また行動における慎み深さは、人に力を与え、人を気高くする次の3つの祝福を得る助けとなります。

1. 慎み深さによって聖霊を常に伴侶とすることができます。ヘイルズ長老はこう教えています。「御霊を受けるふさわしさを保つうえで慎み深さは欠かすことができません。」⁵

子供たちが「聖霊の言い尽くせない賜物」を得られなくすることは何も行いたくないという思いを持てるように助けま



しょう(教義と聖約 121:26)。尊く力強い霊的な賜物は聖霊を伴侶とすることにより与えられるということを、彼らが知るように助けてください。「わたしはあなたにわたしの御霊を授けよう。わたしの御霊はあなたの思いを照らし、あなたの霊に喜びを満たすであろう。……これによってあなたは、わたしから与えられると信じながら信仰をもってわたしに願うことで、義にかかわることは何であろうとすべて知るであろう。」(教義と聖約 11:13-14) 知識、知恵、証、喜び、平安、幸福。これらは、慎み深い生活をして聖霊を受けるのにふさわしい人となるように子供たちに勧めるとき、わたしたちが彼らに約束することのできる偉大な祝福の一部です。

慎み深い服装に対するチャレンジの一つは、ファッションと社会に受け入れられる行動がよく変わるということです。主の標準は決して変わりません。若い男性と若い女性に、何を着用し、何を言い、何を行うかを選ぶ際に御霊に敏感であるように教えてください。御霊に近く生活をするとき、世の人々のようになる必要はありません。

わたしたちの子供たちは聖霊の賜物を受けています。そして、神殿に通じている聖約の道を歩み、その道によって神のみもとに帰るのです。わたしたちは、聖霊を受けるのにふさわしく生活するときに導かれ、守られ、慰められ、清められるということを彼らに確信させ、彼らに模範を示す必要があります。

2. 慎み深い外見と行動はこの世の破壊的な影響力から守られる助けとなるということを、わたしたちは息子と娘に教えることができます。わたしたち全員に対して用いられる



若い男性と若い女性に、何を着用し、何を言い、
何を行うかを選ぶ際に
御霊に敏感であるように教えてください。
御霊に近く生活をするとき、
世の人々のようにする必要はありません。

最も欺瞞きまんに満ちた手段の一つは、道徳が時代遅れのもの
であるという考え方が社会に受け入れられていることです。
慎み深さはこのような有害な影響に対する防御手段であり、
純潔と徳を守る手段です。『若人の強さのために』に記され
ている次の言葉に注目してください。「結婚する前に……
性的な思いを刺激するいかなる行為もしてはなりません。」⁶
慎みのない外見と行動は、しばしば性的な思いを刺激し、
また防壁を打ち砕いて、純潔の律法を破るようという誘惑
を増大させます。

ヘイルズ長老は次のように教えています。「慎み深さは、
思いと行いの両面において、清さと純潔を保つうえで欠かせ
ません。慎み深さはわたしたちの人格の中心です。慎み
深くあることで、正しい思い、行動、決断をするために必要な
影響を受けられるからです。」⁷若い男性と若い女性が自らの
内にある生殖の力を防御し、保護する備えができるように
助けるために、慎み深さについて教え、その模範となっ
てください。彼らが神聖さを保ち、結婚した夫婦の間でのみ

愛情の表現を維持することができるように助けてください。

3. 慎み深さを保つことによって、わたしたちは「いつでも、
……神の証人になる」ことができます（モーサヤ 18:9）。
救い主はこう教えておられます。「あなたがたの光を掲げ
て、世の人々に輝き渡るようにしなさい。見よ、あなたがた
の掲げる光とは、わたしである。」（3 ニーフアイ 18:24）
わたしたちは世のかがり火となり、福音に従って生活する
ことの喜びを表し、義について教え、また、地上に神の王国
を築くように神から命じられています。わたしたちは慎み
深く、清くあり、戒めを守るとき、それぞれがキリストの光を
反映します。慎み深さは、救い主とイエス・キリストの福音
に対するわたしたちの証を証明するものなのです。

聖霊により導かれ、世俗から自らを守り、世に対する神の証
人として立つ人々は、何と美しく、また何と幸いなことでしょう。
シオンの全ての息子と娘に模範を示し、慎み深さの教義を
教える人々は幸いです。

わたしたちが救い主に従うことを聖約して、人生にお
いて救い主の贖罪がもたらす満ちみちる祝福を受けたいと
願うとき、実に重要な衣がただ一つあります。モロナイは
こう記しています。「目を覚まして地から立ち上がりなさい。
おお、シオンの娘よ、美しい衣を着なさい。……永遠の御父
〔の〕聖約が果たされるようにしなさい。」（モロナイ 10:31、
強調付加）

美しい衣とは、聖約を守ってきた人々が着ている義の衣
です。子供たちがこれらの美しい衣を着ることができるよう
に、わたしたちは彼らを備えているでしょう。

わたしは証します。救いはキリストにあります。聖約を
守ってきた人々は「自分の喜びと自分の義について完全な
知識を得、潔白を、まことに義の衣をまと〔います〕。」（2 ニ
ーフアイ 9:14）■

2013年5月2日にブリガム・ヤング大学で行われた女性の大会での話から。

注

1. 『真理を守る—福音の参考資料』148
2. ジェフリー・R・ホランド「悩めるイスラエル」教会教育システムディボーション、2012年9月9日。
3. デビッド・A・ベドナー「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号、43
4. ロバート・D・ヘイルズ「バプテスマの聖約——王国にあって王国のものとなる」『リアホナ』2001年1月号、8-9参照
5. ロバート・D・ヘイルズ「慎み深さ——主への敬意」『リアホナ』2008年8月号、18
6. 『若人の強さのために』36
7. ロバート・D・ヘイルズ『リアホナ』2008年8月号、19

北海での祈り

わたしが17歳の頃、家族はノルウェー南部のアンダペロイという島に住んでいました。父はアンダペロイでこの教会に改宗し、わたしはこの海でバプテスマを受けました。

わたしはその頃には漁師になっていて経験もあり、船を操るのは手慣れたものでした。それで、地域住民が使う海上タクシーの務めを父から任されていました。

1941年のある日、北部のフレッケフヨルに住む医師から電話がありました。船で2時間くらいの所に住む女性を一刻も早く治療しなければならぬと言うのです。ホフマンという

名のこの医師は、この女性を診察したいのだが船は出せるか、と打診してきました。両親は、北海に荒れ狂う嵐を心配しました。わたしたちは祈り、どうしたらよいか天の御父に尋ねることにしました。そして、行くべきだという答えを受けたのです。

船名を「トライグ」という、31フィート（10メートル）ほどの漁船を海に出したときは悪天候で、高い波が押し寄せていました。わたしは医師を乗せると、フィヨルドから広い海に出ました。向かったのは、リスタという町のすぐ北にある集落で、ノルウェー南部の岩だらけの海岸沿いにありました。

悪天候と船の座礁で有名な地域です。

岩で囲まれた幅40フィート（12メートル）の入り江にたどり着くまで、嵐の中、船を進ませました。この入り江は目的地に通じています。波は非常に高く、次々と入り江に打ち寄せては、岩に当たって砕けています。入り江で船のかじを取るのとは不可能でした。

「どうすればよいだろう。」強風の中で医師が尋ねました。

「祈りましょう」とわたしは答えました。

わたしは一息ついてから祈り、天の御父に導きを求めました。アーメンと言うや否や、はっきりとした答えがありました。ある年老いた漁師から聞いた



話を突然思い出したのです。その漁師はひどい嵐の中、この同じ地域で漁をしていたことがありました。岸にたどり着くことができずに嵐が収まるのを待っているうちに、打ち寄せる波に規則性があることに気がついたそうです。大きな波が3度来ると、ほんの少しの時間、波が静かになるのです。入り江に入り込むには十分な時間でした。

わたしはこの地域で何度も漁をしたことがありましたが、波の規則性に気づいたことはありませんでした。しかし、とりあえず船を入り江の入口に着け、大きな波が3度来るのを待ちました。その後確かに、突然波が静かに

波は非常に高く、入り江で船のかじを取るのとは不可能でした。



なりました。わたしは湾の中の静かな水の上を、滑るように船を進め、ホフマン医師を岸に降ろしました。医師は病気の女性のもとに急ぎ、わたしは天の御父が祈りに応えてくださったことに感謝しながら、船で彼を待ちました。

1時間ほどすると医師は戻って来て言いました。「彼女は助かったよ。」

この知らせと、天候が回復してきたことに安堵し、わたしは船を操縦して、無事に帰ることができました。

助けが必要なときには祈るべきだということを証します。天の御父は必ず応えてくださいます。■

オラフ・ソーリーフ・ジェンセン (アメリカ合衆国、ユタ州)

主はあなたを愛しておられます

テネシー州メンフィス神殿の奉獻式の間、わたしは日の栄えの部屋の隅にあるオルガンの横に座っていました。1995年から2007年まで大管長会の一員だったジェームズ・E・ファウスト管長(1920 - 2007年)が、神殿の奉獻に来ていました。ファウスト管長と他の何人かの指導者たちはマイクの後ろに着席していました。地元の教会の聖歌隊が入場し、彼らの後ろに立ちました。

聖歌隊員の中に、わたしの家庭訪問先の若い女性がいました。彼女がここに来た目的が果たされるようにと、わたしは集会の間中祈りました。彼女は主が自分のことをどう思っておられるのかを知るためにその日神殿の奉獻式に行くと言っていました。過去に重大な罪を犯していて、悔い改めてはいたものの、自分を救せない気持

ちと闘っており、自分には聖歌隊で歌う資格すらないと感じていたのです。

わたしはファウスト管長をじっと見つめました。この人ならば、主を代表する大管長会の一員として、何かできるに違いないと感じていたからです。しかし、どうしたら伝えられるでしょうか。それに、ファウスト管長にどんなことができるでしょうか。集会が終われば、来たときと同じように退出します。自己紹介も握手も、言葉を交わすこともないでしょう。管長は忙しく、旅行の日程が決まっています。それは分かっていたのですが、わたしは祈りました。

ファウスト管長は深く考え込む様子で、しばらくわたしの顔を見ていました。眉間にしわが寄っています。しかし、集会が終わると表情が明るくなり、幸せそうな笑みが満面に広がりました。

管長はもう一度わたしを見ると、突然立ち上がって後ろを振り返り、手をできるだけ伸ばしました。そしてわたしの友達を指差し、大きな声できっぱりと言ったのです。「主はあなたを愛しておられますよ。」

ファウスト管長のこの身振りはささやかで簡単なものでしたが、力にあふれていました。わたしが言えないことを聖霊が伝えてくださったとしか思えません。この短い言葉はわたしの友を祝福し、今でもわたしの信仰の支えとなっています。確かに主はわたしたちの人生の隅々まで心にかけておられます。「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられる」のです(アルマ37:6)。■

アリス・ビクトリア・ウェスタンシャーウッド
(アメリカ合衆国、アーカンソー州)

わたしは子供たちの祈りを聞いた

うつ病には二度となりたくないと
思っていました。しかし、症状
が出なくなってから12年後、この病
が再発したのです。

わたしは恐ろしくなり、ひどく取り乱
していました。天の御父に問いかけ、
この試練を乗り越えられるよう強さを
祈り求めました。このうつ病が前回
のように5年も続くことがないように
とも、御父に懇願しました。

夫とわたしには子供が3人います。
二男一女です。彼らのおかげで、わた
したち夫婦には13人の孫がいます。
わたしがふさぎ込んでいると知って、
娘が連絡を取り、家族皆で断食して祈
る日を設けてくれました。1歳から
10歳までの孫がおばあちゃんのため
に祈ると言ってくれたのです。バプテ
スマを受けた3人は、断食すると言っ
てくれました。夫と子供たちと孫たち
がわたしのために祈ってくれると知っ
て、とても心が安らぎました。

断食と祈りの日の翌日、昼寝から目
覚めると、うつ状態はさほど強くない

1歳から10歳までの孫が
おばあちゃんのために
祈ると言ってくれたのです。
バプテスマを受けた3人は、
断食すると言ってくれました。

ような気がしました。その翌日はさら
に良くなっていました。そして、5日目
までには完全に良くなっていました。
その日の晩、なぜこんな奇跡が起こっ
たのだろうかと考えていると、ある声
が心に響きました。「わたしは子供た
ちの祈りを聞いた。」天の御父は
子供たちの純粋無垢な祈りを聞いて
くださり、謙遜で信仰と愛のこもった
祈りに応えてくださったのです。

主はこう教えておられます。

「心をいれかえて幼な子のようにな
らなければ、天国にはいることはでき
ないであろう。

この幼な子のように自分を低くする
者が、天国でいちばん偉いので
ある。」(マタイ18:3-4)

わたしは孫たちに手
紙を書き、わたしのた
めに断食と祈りをし
てくれたことに感謝

しました。彼らをどんなに愛している
かを伝えました。彼らの祈りを天の
御父が聞き届けてくださったことを伝
えました。

孫たちは福音の中で成長していき
ます。その過程で、「わたしは子供た
ちの祈りを聞いた」と天の御父が自
分たちの祖母に言われたことを忘れ
ないでいてくれたらと思います。この
経験が孫たちの証を強め、福音の道
をしっかりと歩むための助けとなるよ
う願っています。■

ジョイ・クロマー
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)



非常に魅力的な毒

新聞を取ろうとして玄関を出ると、嫌なものが目に入りました。ヒアリが夜のうちに芝生と歩道の隙間から入り込んできて、赤茶色の山のような巣を作っていたのです。

夫とわたしはアメリカ合衆国テキサス州に長く住んでいたわけではありませんが、このアリに「ヒアリ」という俗称がついたのは、火のような色をしているからではなく、刺されるとやけどのような痛みがあるからだということを知り、わたしは苦い経験から知っていました。わたしは車庫に直行し、そこに置いてある殺虫剤を手にとると、ラベルの指示を読みました。

「〔この殺虫剤は〕ヒアリにとって非常に魅力的です。ヒアリはこれを自分の巣に運んで行って女王アリに食べさせ、巣のアリは全滅します。」ラベルには、殺虫剤の粒をアリの巣の上と周辺にばらまくようにと書いてありました。後はアリに任せればよいのです。

半信半疑でした。ヒアリはとても賢く、一晩で高い山を作ることができます。餌に見せかけた毒にだまされるとは思いませんでしたが、とりあえず薬剤をばらまきました。

少したつと、アリの山が活気づいてきました。わたしはしゃがみ、離れた所から成り行きを見ていました。アリたちは、天からマナが降って来たかのように浮かれていました。白い薬剤の粒を小さなはさみでつかんで掲げ、押し合いへし合いしながら、先を争ってこの毒を巣に運んで行きます。

わたしは驚愕しながら見ていました。喜んで毒を家に運んでいるのです。「非常に魅力的」という言葉は言いすぎではなかったようです。殺虫剤の製造元は、アリには良くないもの、命に関わるものを非常に魅力的に見えるように作ることができたのでしょう。

悪が善に見える例として、これほど衝撃的なものは見たことはありませんでした。サタンも同じことをするのだ、とわたしは考えさせられました。救いだったのは、サタンは良いものに見せかけた毒を家庭の周囲にまくことはできても、人が許さない限り、それを家の中に入れることはできないということです。では、どうしたらサタンの毒を家から締め出すことができるのでしょうか。

好きな聖句の一つが心に浮かびました。「見よ、善悪をわきまえることができるように、すべての人にキリストの御霊が与えられているからである。」御霊があれば、ある事柄が神から出ているかサタンから出ているかを「完全に理解してわきまえることができる」と、モルモンは説明しています(モロナイ7:16)。

滅びる運命にあるアリを見た経験を通して、感謝の気持ちで満たされました。夫もわたしも、家に入れるべきものとそうでないものとを判断してわきまえることができるからです。わたしたちのすべきことは、キリストの御霊に

従うようにと子供たちに教えて、毒に遭遇したときに彼らも、それが悪いものだと判断できるようにすることです。

そこにしゃがんで、小さな虫たちが殺虫剤を最後の一粒まで巣に運び入れるのを観察しながら、わたしは決意しました。家に毒を持ち込まないために、あらゆる努力を払おうと。■

アリソン・L・ランドール
(アメリカ合衆国、ユタ州)

殺虫剤の粒をアリの巣の上と周辺にばらまくようにと書いてありました。後はアリに任せればよいのです。



信仰を擁護する

わたしたちが住んでいる世界では、多くの人が悪を善、善を悪と見なしており、わたしたちは声を大にして善を擁護しなければなりません。以下は自分の信仰を擁護したヤングアダルトの証です。^{あかし}彼らは相手と言い争ったり、怒りや不親切な態度で応じたりしませんでした。むしろ、「勇気と礼儀正しい態度」¹を示し、その結果、周りの人々を強めました（3 ニーファイ 12：44 - 45 参照）。





弟はシャンパンを断りました

フランスでは、兵役は義務です。わたしの20歳の弟ロイックは、士官を目指して予備役将校の訓練校に行くことにしました。卒業するとき、新しい士官の宣誓式がありました。一人一人が連隊のスローガンを暗唱した後、バラの入ったシャンパンを花ごと飲み干します。このしきたりはナポレオン・ボナパルトから始まったもので、それ以来すべての士官が行って来ました。

ロイックは大佐に、宗教上の方針でアルコールを飲むのを禁じられていると伝えました。例外を認めてほしいとロイックが頼むと、冷やかな沈黙がありました。大佐は立ち上がると、ロイックにシャンパンを飲むように強要するどころか、周囲から圧力があっても自分の信念を貫いたことをたたえました。そして、そのような誠実な人を自分の連隊に迎えることを誇りに思うと述べたのです。シャンパンの代わりに飲み物が用意され、ロイックは無事に宣誓式に参加できました。

ピエール・アンシアン（フランス）

過激なパーティーに招待されました

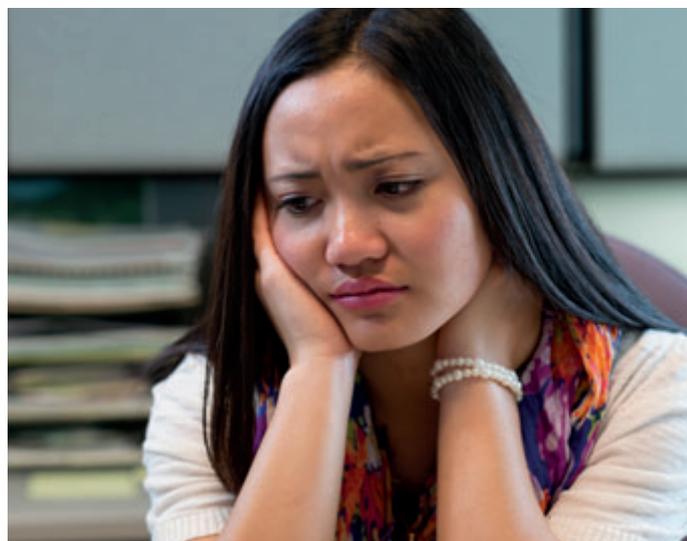
大学卒業後、姉妹のグレースとわたしは他にも末日聖徒のいる会社に勤めました。経営者は教会員ではありませんでした。グレースが婚約したとき、女性の上司が彼女に内緒で結婚祝いのパーティーを企画しました。わたしたちの標準を尊重してくれることを願いましたが、それどころか、上司は酒と男性ダンサーといかがわしいビデオを手配しました。

パーティーの前に、わたしたちの標準を上司に思い出させるようにという聖霊のささやきを感じました。わたしは若い女性のペンダントを握りしめ、若い女性のために「成長するわたし」を修了するために払ってきたあらゆる努力と犠牲について考えました。今回はさらに確固として立てるよう導きを祈り求めました。上司の気分を害してしまうかもしれないと思いながら、自分の心配事について携帯でメールを送りました。わたしの一番の望みは天の御父を喜ばせることでした。

パーティーが始まったとき、上司はわたしに声を掛けることも笑顔を見せることもしませんでした。しかし、ダンサーとビデオの予約は取り消してありました。

パーティーの後、上司は以前のようにわたしと話したり、笑ったりしなくなりました。でも、神がわたしの行動を喜んでおられると知っていたので、わたしは満足していました。1週間ほどすると、上司との関係は普通に戻りました。神が彼女の心を和らげ、わたしが信仰を守って生活していることを彼女に気づかせてくださったことを確信しています。

レミ・ラビタグ（フィリピン、カガヤン・バレー）



クラスで下品な言葉が聞こえました

18歳の頃、裁縫のクラスを取りました。ある日、少し離れた場所にいた3人の女の子が口汚い言葉を使い始めました。言い争いを避けるために無視するべきか、それとも自分の標準を擁護するためにやめるように言うべきか迷いました。結局、わたしはできるだけ礼儀正しくこう言いました。「悪いけど、もう少し言葉に気をつけてもらえない?」

一番体の大きな子がわたしをにらみつけて、こう答えました。「どうしゃべろうと、わたしたちの勝手よ。」

「でも、口汚く罵る必要があるの? こっちの気分が悪くなるわ」とわたしは言いました。

「じゃあ、聞かなければいいでしょ」と彼女は言いました。

わたしはいらだち始め、こう言いました。「声が大きいから、聞きたくなくても聞こえてしまうわよ。」

彼女は「ほっといてよ」と言いました。

わたしは諦めました。その子たちに憤慨しましたが、それ以上に自分に対して憤りを感じていました。自分がけんか腰になるなんて信じられませんでした。口汚い罵りは依然として続き、今となってはわたしも含めて皆が怒っていました。

怒りが収まってきたとき、あの女の子たちがミシンをうまく使えなくて困っていることに気づきました。わたしも先ほど同じ問題に出くわしたばかりだったので何が原因か分かっていました。彼女たちに直し方を教え、一番体の大きい子の表情が変わるのが見えました。「あの、さっきはごめんね」と彼女は言いました。わたしは彼女が謝ってきたことに信じられないほど驚きましたが、「わたしもごめんなさい。あんなふうに怒るべきじゃなかったわ」と言いました。

わたしが自分のミシンのところへ戻ると、もう下品な言葉は聞こえてきませんでした。この経験から、言葉によって人の態度を変えられなくても、親切と奉仕によって変えられることがしばしばあることを学びました。

ケイティー・バイク (アメリカ合衆国ユタ州)



伝道に出る決意を貫きました

わたしは19歳のときに教会に入りました。3人息子の2番目で、家族でただ一人の末日聖徒でした。バプテスマを受けて間もない頃、伝道に出たいと思うようになりました。1年たったとき、御霊は伝道に出るべきだと告げました。母に話しましたが、母は行かない方がよいと考えました。わたしはさらに1年待ちましたが、伝道に出たいという望みはずっと持っていました。その1年、わたしは聖文を読み、貯金をし、書類を準備し、健康診断を全て受け、他の準備を全て終えて、主の答えを待ち望みました。程なくして、わたしはブラジル・カンピーナス伝道部で奉仕する召しを受けました。

両親はまだ反対していました。わたしは断食し、心を開いて祈り、自分の不安について天の御父に話しました。わたしの地上の父親の心に触れてくださるよう懇願しました。その願いはかなえられました。驚いたことに、出発する直前の土曜日に友人たちが開いてくれたお別れ会に父が来てくれました。そして、出発の日曜日も空港まで送ってくれたのです。

伝道中、わたしは福音を宣べ伝える中で神の愛を感じました。母はわたしを見限ることなく支えてくれ、わたしが帰還すると、一番に抱き締めてくれました。

伝道は義務以上のものであることを知りました。伝道は特権であり、成長し学ぶためのすばらしい時間です。

クレイソン・ウェリントン・アモリム・プリト
(ブラジル・パライーバ)



神について証しました

わたしは母国の一流大学に入学した頃、最善を尽くさなければならぬというプレッシャーを感じていました。迫害の 때가訪れました。教授の多くが彼らの公言する「現実」とはどのようなものかを説明する話を聞いて、わたしは福音に対する自分の信仰に疑問を持ち始めました。多くのクラスメートもその影響を受けました。このような環境の中では、クリスチャンとしての価値観に従って生活するのが難しくなりました。一時は大学をやめることも考えましたが、続けた方がよいと思直しました。この大学に入れる人がほんの一握りで、その一握りの中に末日聖徒が数人しかいないのなら、とどまって真理を守るべきだと自分に言い聞かせました。

自ら無神論者と名乗る生物学の教授は、至高の創造主がおられることを一切信じることなく科学を教えました。しかし、わたしは講義を聞けば聞くほど、至高の御方、すなわち万物をお創りになった御父がおられるとますます強く感じました。他の学生たちは、わたしの考えがまったく理解できないと主張しました。クラスの議論は激しくなっていました。わたしは手を挙げて神が創造主であられると信じていることを弁明したいと切望しました。

やがて意見交換の時間になりました。わたしの大学では、意見を出した人に対し、拍手したり、声援を送ったり、あるいはやじを飛ばしたりするのが通例でした。わたしは雄々しく立ち、反対する学生たちにはっきりと言いました。「今の時点では、神の存在を信じることは理解できないかもしれませんが、しかし、今わたしがはっきりと知っているように、皆さんにもはっきりと分かる日が来るでしょう。」

それからは、自分の信仰を擁護しても、やじを飛ばされることなくなくなりました。その後、わたしは学力の向上に努めるとともに、社会的にも、霊的にも成長しました。学生会活動にも積極的に参加し、幾つかの役職に選出されました。

たとえ一度でも、真理を守るなら、将来の選択に大きな影響が及ぶことを学びました。

ビンス・A・モレジャン・ジュニア (フィリピン・ミンダナオ)

注

1. ジェフリー・R・ホランド「弟子として歩むことに伴う犠牲と祝福」『リアホナ』2014年5月号、6

わたしの証——

切り離せない 福音とモルモン書

アイビー・ノチェ

宣教師はわたしたち家族にシンガポールの自宅で福音を教えてくださいました。父は教会に入りませんでしたが、母は入りました。母はイエス・キリストとキリストの福音について、わたしたちに教えてくれました。子供ながらも、わたしは自分が末日聖徒であることを友達に誇りをもって語りました。

いつも母の教えを信じてきましたが、ヤングアダルトになったとき、ある宣教師にモルモン書を何回読み通したことがあるか聞かれました。その質問を以前にも聞かれたことがありましたが、そのとき初めて、モルモン書を読んでいないために、それが真実であるかどうか分からないことに気づきました。

否定できない事実

否定できない事実から、もはや逃れ

わたしにとって、
イエス・キリストの福音が
真実であることと、
モルモン書が
真実であることは
切り離すことが
できません。
福音が真実なら、
モルモン書も真実です。

ることはできませんでした。すなわち、イエス・キリストの福音が真実であることとモルモン書が真実であることは切り離せない関係なのです。福音が真実なら、モルモン書も真実です。わたしはモルモン書が真実であるかどうか分からなかったので、子供の頃から信じてきたこと全てに自信を持て

なくなりました。頭がすっかり混乱し、「モルモン書は真実なのか」という疑問が常に心に引っ掛かっていました。

救い主イエス・キリストとの関係が深まるにつれ、わたしは真理を求めようになりました。モルモン書を真剣に読まずにイエス・キリストについて十分に知ることができないと気づいたまことにその日、モルモン書が真実かどうか知りたいと心から願いました。

教師の召し

わたしは導きを求めて祈りました。すると、支部会長から福音の教義クラスでモルモン書について教える召しの話があり、その召しを受け入れました。モルモン書が真実だと分かり救い主に近づく助けとなる、主の答えかもしれないと感じたからです。

教えることは大変でした。最初の数回の日曜日の後、モルモン書を心から信じていなければ、効果的に教えることはできないと痛感しました。

章を追って繰り広げられる物語

わたしは毎週モルモン書を研究し始め、間もなく読むことに喜びを感じるようになりました。章を追うごとにモルモン書の物語が繰り広げられ、わたしをイエス・キリストに近づけてくれました。

ニーファイが示現で見たキリストの降誕について読みました。

「またナザレの町も見えた。そしてわたしはナザレの町に一人のおとめを見たが、それはまことに色が白く美しいおとめであった。……

すると天使は言った。『見よ、あなたが知っているおとめは、肉に関して神の御子の母である。』」(1 ニーファイ 11:13, 18)

幸福の計画について読み、イエス・キリストを信じる信仰がわたしたちの救いに必要であることを学びました。アミュレクはこう教えました。

「将来キリストは、御自分の民の背きを御自身に負うために人の子らの中に来られ、世の罪を贖^{あがな}われる。わたしはこのことを知っている。主なる神がそう言われたからである。

贖^{しよくざい}罪が行われることは必要である。

というのは、永遠の神の偉大な計画によって贖罪が行われなければならず、そうでなければ、全人類が減びるのは避けられないからである。」(アルマ 34:8, 9)

古代アメリカで他の羊の群れを教え導かれるイエス・キリストについて読み、主が全ての国民の神であられることを知りました。主はニーファイ人にこう言われました。「『わたしには、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らもわたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、一人の羊飼いとなるであろう』とわたしが言ったその羊とは、あなたがたのことである。」(3 ニーファイ 15:21)

少しずつ増し加えられた証

モルモン書を読み進めていくにつれ、イエス・キリストを信じるわたしの信仰が強められ、主の計画への理解力が広がりました(アルマ 32:28 参照)。

わたしはモルモン書がわたしたちの宗教のかなめ石であると証します。聖霊はわたしに、ジョセフ・スミスが地上に神の教会を回復し、モルモン書を金版から翻訳したまことの預言者であることを明らかにしてくださいました。モルモン書は、イエス・キリストについて証し、聖書と肩を並べる

書物です。どちらもともに、イエス・キリストが真に神の御子であられ、一つだけでなく全ての国民の神であられることを証しています。■

筆者はシンガポール在住です。



わたしたちの宗教のかなめ石

「かなめ石が取り除かれたらアーチが崩れ落ちるように、この教会の全ての教えはモルモン書が真実であることに依存しているのです。……もしモルモン書が真実であるならば——事実、何百万人という人はこれが真実のものであるという御^{みたま}霊の証を受けたことを証しています——回復やそれに伴う全てのことを受け入れなければならなくなるはずです。」

エズラ・タフト・ベンソン大管長
(1899 - 1994 年)
『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』104 で引用

自由意志が 道徳的な選択の自由か

選択の自由を賢明に使えるば、
選択の機会を閉ざすことなく、
正しく選ぶ能力を
高めることができます。

教会機関誌

マイケル・R・モリス

伝道についてビショップと面接する日待つ
間、とても不安だったことを今でも覚えて
います。自分は伝道にふさわしいのだろ

うかと、あれこれ考えていたの
です。預言者ジョセフ・スミス
と同じように、わたしは「何か
大きな罪、すなわち憎むべき
罪を犯した」わけではな
いのに、神経質になっ
ていました（ジョセフ・
スミス—歴史 1:28）。

神経質になっていた
理由は、友達のダニー（仮名）のこ
とが頭から離れなかったからです。
何か月もずっと、ダニーは自分がどれほど
伝道に出るのを楽しみにしているか話してい
ました。でも、ビショップとの面接の後、それは
変わってしまいました。

ダニーから後で聞いたのですが、彼は数
人の若い女性とふさわしくない行為をした
ことがあったために、専任宣教師として
奉仕するのに不適格だと自ら認め、断念
したのです。彼はもう、伝道に出るこ
とを自由に選択することができなく
なったのです。

十二使徒定員会のボイド・
K・パッカー会長の言葉を

借りれば、ダニーはサタンの誘惑に負けて「〔彼の〕道徳的な選択の自由を誤った方法で使」ってしまったのです。¹

『若人の強さのために』が教えるように、真の自由は、選択の自由を使って従順であることを選ぶときに与えられます。不従順を選ぶと、ダニーが味わったように自由を失うのです。

「どのような行動を取るか自由に選ぶことはできますが、その行動の結果を自由に選ぶことはできません。良きにつけ悪しきにつけ、あなたが行った選択には、自然の成り行きとして、何らかの結果が伴います。」²

自ら選択し行動する者

聖文の中でわたしたちには「選ぶ……自由」、「思うとおりに行動する……自由」、「その自由〔な〕意志〔訳注—英語では free will〕によって」物事を行う自由があると教えられているため（2 ニーファイ 2：27；10：23；教義と聖約 58：27；ヒラマン 14：30）、わたしたちはよく「自由意志」〔訳注—英語では free agency〕という言葉を使います。

しかし、聖典には「free agency」という言葉は存在しないことを知っていましたか。代わりに、聖典では「すべての人がわたしの与えた道徳的な選択の自由〔訳注—英語では moral agency〕に応じて、……教義と原則に従って行動できるようにして、各々が……自分自身の罪に対する責任を負うようにする」と教えています（教義と聖約 101：78、強調付加）。

十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老は次のように教えています。「『選択の自由』〔訳注—英語では agency〕という言葉は〔聖典に〕単独で、あるいは『道徳的な』という修飾語を伴って登場します。『道徳的

な選択の自由』という言葉を使うことで、結果について責任を負うということ³を正しく強調しているのです。これは、選択の自由という天からの賜物の欠かせない部分です。わたしたちは道徳的な存在であると同時に、自ら選択し行動する者なのです。自由に選ぶことができますが、選んだ事柄に対しては責任を負わなければなりません。」³

バックナー会長は次のように付け加えています。「選択の自由は聖典の中で『道徳的な選択の自由』と定義されています。わたしたちは善と悪のいずれかを選ぶことができるということです。」⁴ 神より頂いたこの賜物は、わたしたちが「すべての人の偉大な仲保者を通じて自由と永遠の命を選ぶことも、あるいは悪魔の束縛と力に応じて束縛と死を選ぶことも自由」であることを意味します（2 ニーファイ 2：27）。

選択の自由に対するサタンの攻撃

道徳的な選択の自由が救いの計画で重要な役割を果たすことから、サタンは前世においてそれを打ち砕こうとしました。その背きゆえにサタンは投げ落とされ、今や「人々を欺き、惑わし、……自分の意のままにとりに〔し〕」ようとしています（モーセ 4：3-4）。

サタンは、わたしたちが自分の自由を制限する選択をし、それが悪い習慣や依存となって、サタンの誘惑に抵抗する力を失うことを望んでいるのです。福音のすばらしさは、わたしたちに与えられている選択肢とそれらを選んだ場合の結果に気づかせてくれるところにあります。選択の自由を賢明に使えば、

選択の機会を閉ざすことなく、正しく選ぶ能力を高めることができます。

救い主の模範

天上の会議において救いの計画が提示されたとき、救い主はわたしたちに道徳的な選択の自由の使い方を自らお示しになりました。主は言われました。「父よ、あなたの御心^{みこころ}が行われ、栄光はとこしえにあなたのものでありますように。」（モーセ 4：2）主はそのときと、後にゲツセマネの園と十字架上で、進んで御父の御心を行われたことで（マタイ 26：39；ルカ 22：42 参照）、わたしたちの誤った選択に対する代価^{ゆら}を払い、わたしたちが悔い改めを通して救しを得る道を備えてくださったのです。

救い主の模範に従うなら、わたしたちは「したいことをする」と言う代わりに、「御父が望まれることを行う」と言明することでしょう。⁵ このように選択の自由を使うとき、自由と幸福がもたらされます。

伝道のための最初の面接を受けにビショップに会いに行ったとき、わたしは自分が善い選択をしてきたことに感謝しました。それから数か月後、わたしはグアテマラで主に仕え、人々に救いの計画と、その計画において道徳的な選択の自由が果たすきわめて重要な役割について教えました。■

注

1. ボイド・K・バックナー「わたしの知っていること」『リアホナ』2013年5月号、8
2. 『若人の強さのために』2
3. D・トッド・クリストファーソン、「Moral agency」*Ensign*、2009年6月号、47
4. ボイド・K・バックナー「わたしの知っていること」8
5. ウォルフガング・H・ボール「選択の自由の賜物」『リアホナ』2006年5月号、35 参照



YOUNG MEN'S CHRISTIAN LEADERSHIP

「わたしは思いをコントロールするように努めていますが、それでも多くの誘惑を受けます。どうすればもっと清い思いを持てるでしょうか。」

思

思いをコントロールするのは難しいですが、可能ですし、祝福をもたらします。「思いをコントロールできるようになると、悪い習慣を克服できるようになります。自分を堕落させるような個人的な習慣でさえも克服できるのです。勇気を持ち、恐れに打ち勝ち、幸福な人生を送ることができます。」¹

以下の祝福も考えてみましょう。

- 清い思いは「神の前においてあなたの自信〔を〕増〔す〕」助けとなり、「聖霊は常にあなたの伴侶となり」ます（教義と聖約 121: 45 - 46）。
- 思いが清ければ、靈感に気づきやすくなります。それは聖霊があなたの心と思いに語り掛けてくださるからです（教義と聖約 8: 2 - 3 参照）。
- 清い思いは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、主なるあなたの神を愛せよという一番大切な戒めを守る助けとなります（マタイ 22: 37 参照）。

これらのページにあるアイデアから分かるように、清い思いを持つためにできることはたくさんあります。しかし、最も重要なことの一つは、少しずつ「生まれながらの人」を克服することです。生まれながらの人は、男女の別なく、汚れた思いを好みます。克服する方法を紹介しましょう。「生まれながらの人は神の敵であ〔る。〕……また人は、聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒となり、子供のように従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く、愛にあふれた者とな〔ら〕……ないかぎり、とこしえにいつまでも神の敵となるであろう。」（モーサヤ 3: 19）

救い主の贖いの力を自分の生活に招き入れてこのような変化をもたらすために、あなたが今日できることを一つ挙げるとしたら、それは何でしょうか。

注

1. ボイド・K・バックー「価値ある音楽、価値ある思い」『リアホナ』2008年4月号、31



メディアと友人

第一歩として、心を高める映画や音楽や文学を選ぶのが良いでしょう。一緒にいてふさわしい

会話や義にかなった活動ができる友人を選んでください。だんだん良い事柄について考えることが多くなると、少しずつ悪い思いを退けやすくなることに気づきますし、そういう思いを抱くことも少なくなります。

アンバー・S, 18歳
(カナダ, プリティッシュコロンビア)

祈り

祈ることで天の御父に近づけますし、良い思いだけを考える助けになります。毎日の聖文学習は誘惑を克服する自信を強めてくれます。なぜなら、聖文には、キリストの忠実な弟子の模範が書いてあるからです。証を述べることも、思いを清く保つ助けになります。

ダジャ・M, 17歳 (ウクライナ, キエフ)



聖文

毎朝学校へ行く前に聖文を読むのが助けになります。悪い思いを抱くやいなや、すぐにより良い思いに置き換えます。ただ「そういうことは考えない」と言うだけでなく（それは良いことですが）、良い思いに置き換えるのです。忘れないでください。あなたの思いをコントロールするのはあなたであって、サタンではありません。わたしたちは天の御父の勇敢な息子、娘であり、わたしたちには進歩し続けるという不変の使命が

あります。

ニック・C, 16歳
(アメリカ合衆国, アーカンソー州)



良いことか、 正しいことか

思いが浮かぶのをコントロールできるとは限りませんが、その思いを抱き続けるかどうかは自分でコントロールすることができます。次のように自問してください。この思いは自分にとって良いものだろうか。正しい方向へ向かわせてくれるだろうか。良くないことに心が引かれそうになったら、良い歌を歌ったり、懐かしい思い出のことを考えたり、祈ったりしましょう。大事なものは、悪い思いを良い思いに置き換えることです。

リサ・P, 17歳 (デンマーク)



リーハイの模範

ニーファイ第一書第15章27節で、ニーファイは兄たちに、父親が示現で命の木を見、汚れたに囲まれたと語っています。しかし、リーハイは「心をほかの物事に奪われていて、」汚れに気づきませんでした。これは、今日のわたしたちにも当てはまることです。もし義で満たされていたいと望むなら、そう祈り、義にかなった事柄に集中しましょう。そうすれば、わたしたちの思いは義と徳で満たされ、汚れた思いはとどまる力を失うでしょう。

ハッピー・W, 16歳
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)

賛美歌

賛美歌は、さらに清い思いを持つ助けになります。良い音楽は霊を高めくれます。賛美歌に耳を傾けることができるとき、わたしはいつも、さらに静かで神聖な世界に高められます。賛美歌はわたしに、天の御父がわたしたち一人一人を愛しておられることを思い起こさせ、誘惑を避けやすくしてくれます。

アマンダ・A, 18歳 (ブラジル, アマゾナス)

家族の聖文研究

汚れた思いが頭に浮かぶとき、その朝家族と一緒に読んだ聖文を思い出そう努力します。わたしたちは毎朝6時に家族で聖文を読みます。朝早いですが、家族で聖文を読むことは祝福ですし、一日中わたしを強めてくれます。

エレナ・W, 16歳 (スイス)



せいさん 聖餐

聖餐の祈りには、もしわたしたちがキリストの名を受け、戒めを守って、いつも主を覚えていれば、いつも御子の御霊を受けられると



それらのものに 心を留める

「死すべき世の不安定な旅を続ける間、安全に、また道を踏み外さず

に歩むために、使徒パウロの次の助言に従いましょう。『すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。』【ピリピ4:8】

トーマス・S・モンソン大管長
「過去を振り返り、前進する」
『リアホナ』2008年5月号, 90

あります。主を覚えることで、この世間的な思いを退け永遠に関わる思いに集中する努力をします。一貫して主を覚えていることで、わたしたちの思いや願望や行動が改善されます。

マッケイ・M, 18歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

次回の質問

「母が病気になったとき、わたしたちは母のために断食して祈りました。それなのに、母は死んでしまいました。この事実をどのように受け止めたらよいのでしょうか。」

あなたの意見をお聞かせください。2014年11月15日必着でLds.org/liahona?lang=jpnから投稿するか(「投稿する」をクリック)、liahona@ldschurch.orgまで電子メールをお送りください。郵送することもできます(郵送先については3ページをご覧ください。希望する場合は、高解像度の写真も添付してください。)

電子メールまたは手紙には、次の情報と承認の意思を必ず明記してください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可するというあなたの同意文(18歳未満の場合は保護者の同意文も必要です)。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。



日曜日のレッスン

……
今月のテーマ——
さらにキリストの
ようになる

重要な質問のしかた

適切な質問をすることによって、人々の心が開かれ、
真理についての証を受け入れやすくなることがあります。

教会機関誌

デビッド・A・エドワーズ

あ あなたの周りには教える機会がたくさんあります。バスに乗っている間に
交わすほんの短い会話や、教会でのレッスン、友人との一对一の深い
話し合いの場合もあるでしょう。

そこで、どのような状況でも効果的に教える秘訣^{ひけつ}を教えましょう。それは質問
をすることです。

良い質問は良い学びにつながります。幸いなことに、良い質問をするという
のは、学んで練習すれば上手にできるようになるものなのです。その方法を
紹介しましょう。

重要な質問をする

重要な質問というのは、深く考えさせ、感じさせて、真理
と証と変化につながる質問のことです。そのような質問
は多岐にわたりますが、だいたい共通点が幾つかあります。
それは、(1) 表面的なものや単に事実を確認する質問では
ない(事実を確認する質問の後のフォローアップとして質問
することはあり得る)、(2) 日常生活に何らかの関連がある、
(3) 決まり切った答え以上の答えを返すように促す、です。

質問する理由を忘れない

人は質問されると、頭の中に空白の部分生まれ、それを埋めたいと望むことで、関心を持つようになります。具体的に言うと、個人的な内省を促す質問をすることで、次のような過程が可能になるのです。

1. あなたの言うことに関心を持つようになる。
2. 選択の自由を使ってどう答えるか考え、それを言葉にする。
3. 選択の自由を使うと、聖霊がその人に真理について証することがおできになる。¹

この過程を心に留めておけば、どのような質問をし、どのような質問を避けるべきか、何となく分かってくるはずです。

例——単に「聖文を読むことはなぜ大切なのですか」と尋ねる代わりに、「聖文研究によって自分の生活にどのような影響がありましたか」と尋ねたらどうでしょうか。

ただレッスンを教えるのではなく、人を教えていることを忘れない

教える相手を知っていて、その人たちの必要について考えるなら、単にある概念を理解させるだけではない、相手の助けになるような質問を選ぶはずです。

例——単に「悔い改めの過程にはどのような段階があるでしょうか」と尋ねる代わりに、「自分が何か過ちを犯したと気づいたら、どのようにしてそれを正しますか」と尋ねるのがよいかもしれません。

研究し、深く考える

福音を教える備えとして、聖典や近代の預言者や使徒の教えを研究し、聖霊があなたと教える相手とともにおられるように祈ってください（教義と聖約 42：14；50：21 - 22 参照）。

また、本当に考えさせる質問をしたいと思ったら、自分も同じようによく考える必要があります。研究していることについて深く考えてください。最も深く考えさせられるのは、研究している間に自問するときだということが分かるでしょう。自分が本当に考えさせられるのはどんな質問なのか、注目してください。そのような質問こそ、さらに深い理解と証に通じるものであり、人が福音について学べるよう助けるときにするべき質問も同じなのです。

例——「どうしたら慈愛を身につけられますか」と尋ねるのでなく、「モロナイ書第7章48節には、慈愛を持てるように『熱意を込めて』祈りなさいとありますが、どういう意味だと思いますか」と尋ねるのがよいかもしれません。

SHUTTERSTOCK.COM/HEMERA/THINKSTOCK
SHUTTERSTOCK.COM/JOHAEV/STOCK/THINKSTOCK



徐々にもっと深い質問をする

時には、さらに考え内省しなければならないような質問を徐々にする方がよいこともあります。ですから、まず答えやすい初歩的な質問をし、フォローアップの質問としてさらに深く考えさせる質問を一つか二つするとよいかもしれません。簡単な例を挙げましょう。

初歩的な質問	フォローアップの質問
聖なる森に入ったとき、 ジョセフ・スミスは何歳でしたか。	あなたはジョセフ・スミスのような 心からの望みをもって 天の御父に祈ったことがありますか。 それはどんなときでしたか。
あなたは神を信じていますか。	あなたの生活の中で 神はどのような役割を果たしておられますか。
人に仕えるために 最近どのようなことをしましたか。	わたしたちが皆神の子供であることで、 奉仕に関する考え方はどのように変わりますか。

質問するとき聖霊の導きを求めるなら、正しいときに正しい質問をするようになるでしょう。もしかしたら、誰かの人生を変えるかもしれません。■

注

1.「皆さん〔は〕選択の自由を行使して御霊の教えを受け入れなければならないのです。」(リチャード・G・スコット「霊的な導きを得るために」『リアホナ』2009年11月号, 8)

質問するためのヒント

- 質問に対する反応を待つ。
- より深く考えるきっかけとしてフォローアップの質問を使う。
- 論争や議論を招くような質問を避ける。
- 折に触れて、心の中で考えさせる質問をする。

その他のヒントについては、『教師、その大いなる召し——福音を教えるための資料集』69-70を参照してください。

話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- あなたは、福音についてもっと知りたい、あるいは何らかの方法で自分の生活を変えたいと思わせられた質問を受けたことがありますか。
- 救い主は、教えるときにどのような質問をされたでしょうか。

実践してみること

- 今週聖文を学ぶとき、頭に浮かんだ質問を幾つか書き出す。
- 教会で、クラスの話し合いの時間に質問をする。



十二使徒定員会
ジェフリー・R・
ホランド長老

強さと成功の 見つけ方

皆さんの中には、自分が目指したいものやどういう人生を送りたいか分かっている人がいますが、分からない人もいます。多くの祝福を受けていて、将来に向けて多くのすばらしい選択肢がありそうな人もいます。また、理由はどうあれ当面はそれほど幸運に恵まれずに、近い将来あまり魅力的な生き方が望めないと感じている人もいます。

しかし、皆さんがどんな人で、人生の進むべき道を模索する中でどのような状況にいても、わたしは皆さんに「道であり、真理であり、命」である御方を勧めます（ヨハネ14：6）。他にどのような方向に進んでいると思っても、皆さん個人の幸福と強さと成功を見出すという目的地に到達するために必要不可欠な第一歩として、「主のもとへ来る」ようにしてください（マタイ11：28 - 30 参照）。

アンデレとピリポが初めてキリストの言葉を聞いたとき、二人は感動に我を忘れ、主が群衆のもとを去られたときに**主に従って行きました**。後をついてくる者がいることに気づいた主は、振り返って二人にお尋ねになりました。「何か願いがあるのか。」（ヨハネ1：38）別の翻訳では単に「何の用か」とあります。

彼らは答えて、「どこにおとまりなのですか」、つまり「どこに住んでおられるのですか」と尋ねました。

それに対してキリストは「**きてごらんなさい**」と言われました。それからすぐ後に、主はペテロと他の新しい使徒たちを正式に召して次のように言われました。「**わたしに従ってきなさい**。」（マタイ4：19 参照）

救い主の地上における務めが始まったこれらの場面で、わたしたちの人生の本質が次の二つの簡潔な要素に凝縮されているようにわたしには思えます。一つは、わたしたち一人一人に向けられた「**何か願いがあるのか**」という問い掛けです。二つ目は、どうしたらその願いがかなえられるかという疑問に対する主の答えです。わたしたちがどんな人間で、どんな問題を抱えていても、主の答えは常に、そして永遠に同じです。「**わたしに従ってきなさい**。」来て、わたしが何を行い、どのように過ごすかを見なさい。わたしに学び、従いなさい。そうすれば、その過程においてあなたの祈りに答えを授け、あなたの魂に安らぎを与えよう。

愛する若人の皆さん、これ以外に皆さんが成功や幸福、安全を得る方法をわたしは知りません。これ以外に皆さんが自らの重荷に耐え、ヤコブが「**聖徒たちのために用意されている**

あの幸福」と呼ぶものを見出す方法を知りません（2ニーファイ9：43）。だからこそ、わたしたちはキリストの**贖罪の犠牲**に基づいて**厳粛な聖約を交わす**のであり、**主の名を受け**るのです。

イエスこそキリストであり、生ける神の御子です。この教会は主の真の生ける教会です。主はわたしたちが御自身のもとに来て、主に従い、**主によって慰めを受ける**よう望んでおられます。それから、**人に慰めを与える**ように望んでおられます。**神の恵みを受け**、独り子の慈しみを受けるのに十分な信仰がわたしたちにありますように。わたしたちが皆、主と主の福音のもとに来て、癒やされますように。■

1997年3月2日に行われたブリガム・ヤング大学ファイヤサイドから。

**自分にどのように
当てはめましたか**

「イエス・キリストは御自身に従ってくるよう、わたしたちに望んでおられます。わたしたちは人々を助ける必要がありますし、主が決して、絶対にわたしたちをお忘れにならないことを覚えておく必要があります。」

セシリア・E (フィリピン)

.....

「救い主のもとに行くためには、最善の努力をして主の模範に従い、一日中どんなときも絶えず主がともにいてくださるようにしなければなりません。」

アリソン・L (アメリカ合衆国, アリゾナ州)

.....



— 家族歴史 —

わたしは実践しています

始めるのは簡単で楽しいです。
全世界の青少年が
家族歴史に取り組み、
周囲に影響を及ぼしています。

どこから始めるべきでしょうか。あなたは、「なすべきことは自分の親戚が全て行っている」と考えているかもしれませんが、あるいは、家族歴史は初めてで、圧倒されているかもしれません。個人の日記をつけるにしろ、神殿のために名前を準備するにしろ、あるいは生存している親戚から情報を得るにしろ、あなたも家族歴史に楽しく有意義な方法で参加することができます。

個人の日記をつける — 祝福を覚える

日記をつけるのは容易ではありません。わたしたちは、日記を書くには忙しすぎるとか疲れすぎているとか、あるいは書くような面白いことがない、などによく言います。数年前に気づいたことですが、日記をつけるのは、本来、難しいことではなく、大好きになれるのです。

わたしは1日に一つのことを書き記すことから始めました。それほど長くなくても、面白くなくてもかまいません。思い浮かんだこと、あるいはその日に起こったことを何でもただ書きました。それだけでわたしの生活に祝福もたらされました。

ある日のこと、家族の一人が苦しんでいました。わたしは彼女に何と言ったらいいか分かりませんでした。わたしの日記から一つの話を読むようにとの促しを受けました。小さな黒い日記帳に記録した一つの経験を紹介することができました。それが彼女の心を軽くする助けになったのが分かりました。

1日に一つのことを書き留めることで、必ず、あなたの生活に祝福もたらされます。ささいなことでも大きな出来事でもかまいません。日々の生活で経験した祝福を書き留めることによって、その祝福を覚えておくことができます。

ジェントリー・W (アメリカ合衆国, ユタ州)

家族歴史から喜びを得る —— 先祖を探求する

バプテスマを受けたとき、家族歴史について多くのことを耳にしましたが、それをどのようにして行えばよいか、また自分にできるかどうか、わたしには分かりませんでした。わたしはそのことについて祈ることにしました。そしてすぐに取り組む必要があると感じました。わたしの先祖はわたしが始めるのを心待ちにしている、儀式を行うために必要な情報を見つけられるよう助けてくれると感じました。

まず初めに、家族歴史コースを受けました。それから間もなくして、わたしは家族歴史相談員に召されました。家族歴史についてあまり知らなかったのが不安でしたが、その召しを受け入れました。

ある日のこと、わたしは祖母の妹を訪問しました。彼女は曾祖母に関する文書を持っていました。彼女はあまり多くの情報を教えたりませんでした。亡くなった先祖については語らないという伝統があったからです。彼女は、次の日は曾祖母の命日なので、文書を全部焼却するつもりだと言いました。一部の情報だけでももらえるかと尋ねたところ、彼女は許可してくれました。そのとき、わたしは天の御父が先祖の探求を続けられるよう助けてくださると感じました。

神殿の近くにある家族歴史センターで奉仕していたとき、わたしは自分の家族についてもっと多くのことを引き続き発見しました。わたしの曾祖母の祖父母のうち、二人はイタリア移民で、ブラジルのサンパウロに農場を所有していました。わたしの家族は、その農場の親戚と音信が途絶えていましたが、わたしは一人のいとこを見つけました。そのいとこは、わたしの家族の系図について本を書いていたのです。彼はその本をわたしにくれました。書くのに9年を要したとのことでした。彼はなぜそれを書くべきなのか分からなかったけれども、将来、誰かのために役立つと感じたと言いました。わたしは彼に靈感を与えたのはエリヤの霊だということが分かりました。

わたしは自分の経験から、わたしたちは神聖な業を行っているということを感じました。わたしたちの先祖はわたしたちの助けを待ち、わたしたちの傍らにいて、わたしたちを助けてくれるのです。

ガブリエル・D (ブラジル)



神殿活動を行う —— 神聖な儀式

わたしは改宗者で、家族では唯一の教会員です。神聖な儀式の一つは、死者のためのバプテスマであるということを感じました。そこで、神殿参入ツアーに参加することにしました。儀式に関する司会者の話を聞いているうちに、細くて小さな声が、家族歴史センターに行き、既に亡くなっていた母のために神殿の儀式の要請書を提出するようわたしに告げるのを感じました。しばらくたって、ファミリーサーチの報告で母の儀式が終了しているのを確認したとき、わたしはとてもうれしくなりました。その経験を通してわたしの証は強められました。わたしは、人がこの地上にいる理由の一つは、先祖がイエス・キリストの真の福音を受け入れられるよう助けるためであることがはっきりと分かりました。

マービン・S (フィリピン)

聖霊の促しに従う —— 生存する親族から学ぶ

高校を卒業してから、わたしは4人の祖父母全員を訪問した方がよいという聖霊の促しを感じました。少し自由な時間があり、もう二度とそのような機会はないかもしれないと思ったのです。そこでわたしは1週間かけて、祖父母をそれぞれ訪問しました。





永遠に関わる事柄に携わる

「自分自身の先祖の業について祈ったことがあるでしょうか。人生の中で大して重要でないことは脇に置いてください。永遠の結果をもたらすことを実行しようと決意してください。……

皆さんが世界のどこにしようとも、祈りと信仰と決意と勤勉さにより、そして幾らかの犠牲を払うことにより、大きく貢献できるのです。今から始めましょう。わたしは皆さんに約束します。必ず主の助けがあって、皆さんは道を見いだせます。そして、それに従うことですばらしい気持ちを味わうことでしょう。」

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
「死者を贖う喜び」
『リアホナ』2012年11月号, 95

わたしは古い本に目を通し、古い手紙を読み、古い写真を見て過ごしました。祖父母の体験談を記録し、墓地を散策し、祖父母や彼らの親戚が生活し、働いた場所を訪れました。楽しい経験でした。自分の先祖、祖父母、両親、そして自分自身について、実にたくさんを学びました。先祖がいなければ、自分はこうして生きてはいないのだということに気づきました。

その旅行が終わり、わたしはおよそ1,000人分の先祖の名前を携えて帰り、それらの先祖のために神殿の業をたくさんすることができました。聖霊の促しに従い、祖父母を訪れたことは、わたしがこれまでに下した決断の中でも最良の決断の一つでした。

シェンリー・P (アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

心が休まる —— 名前を持って神殿に行く

「成長するわたし」プログラムを修了するために、家族歴史について父にアドバイスを求めたときのことです。父は数年前に家族の名前を幾つか見つけたけれども、いろいろと立て込んでいて、神殿に持って行く名前の準備が思うようにできなかったと説明してくれました。わたしの助けがあれば、その家族が神殿の祝福を受けられると言うのです。

次の数か月間、わたしは日曜の午後と夕方を使って、コンピューターに名前を入力し、父に家族の話や思い出を覚えてもらいました。もっと多くの情報を得るために、マイクロフィッシュも注文しました。古いフィルムを読み取るのが難しいこともありましたが、そんなときには心の中で祈って、読み取り機の画面の上に紙を置き、文字を上からなぞると、暗闇から照らし出されるかのように、名前が分かりました。

最終的に、わたしは大量の家族の名前を収集し、ワードの青少年がバプテスマの終了を助けてくれました。両親とワードの会員は家族ネームカードを持って、バプテスマ以外の神殿の儀式を完了してくれました。

やがて、自分自身のエンダウメントを受けるために神殿に参入する備えをするようになりました。わたしはわくわくすると同時に緊張しました。

父と神殿へ向かうとき、「成長するわたし」プログラムのためにわたしが作成した家族ネームカードを幾つか見つけたと父が説明してくれました。幾つかのカードを紛失してしまっていたので、父は、母と、わたしの婚約者、そして自分が儀式を終了できるよう、ネームカードを持って来たのです。父からカードに書かれた先祖の名前を見せてもらったときに、わたしは「成長するわたし」プログラムで調べたその名前を思い出しました。

神殿で神聖な聖約を交わすとき、わたしは現世と霊界を隔てる幕の両側にいる愛する人たちに囲まれているような気がしました。自分が家族と永遠に結ばれると知ったとき、わたしは深い平安を感じました。■

ホリー・P (アメリカ合衆国, アイダホ州)



あなたの経験を分かち合う

[lds.org/youth/family-history/experiences?lang=jpn](https://www.lds.org/youth/family-history/experiences?lang=jpn)で家族歴史に関するあなたの経験を紹介してください。

先祖を見つけて、 自分を見つけてよう

あなたの人生は何世代もかけて作られました。
自分のストーリーの始まりを見つけましょう。
FamilySearch.orgにアクセスしてください。



伝道の面接を終えたステーク会長は、
こう言いました。「あなたの決意を揺るがすような
不思議なことが次々と起こるでしょう。」

伝道を されたわたし を 反 対

アルセニル・デ・ソーザ

わたしは15歳のときに教会に加わり、4年後に宣教師志願書を出しました。ステーク会長との面接の中で、専任宣教師として主に仕える決心をしたことを褒められました。この靈感あふれる指導者が続けて言った次の言葉に、強い印象を受けました。「兄弟、今後、主に仕えるという決意を揺るがすような不思議なことが次々と起こるでしょう。」

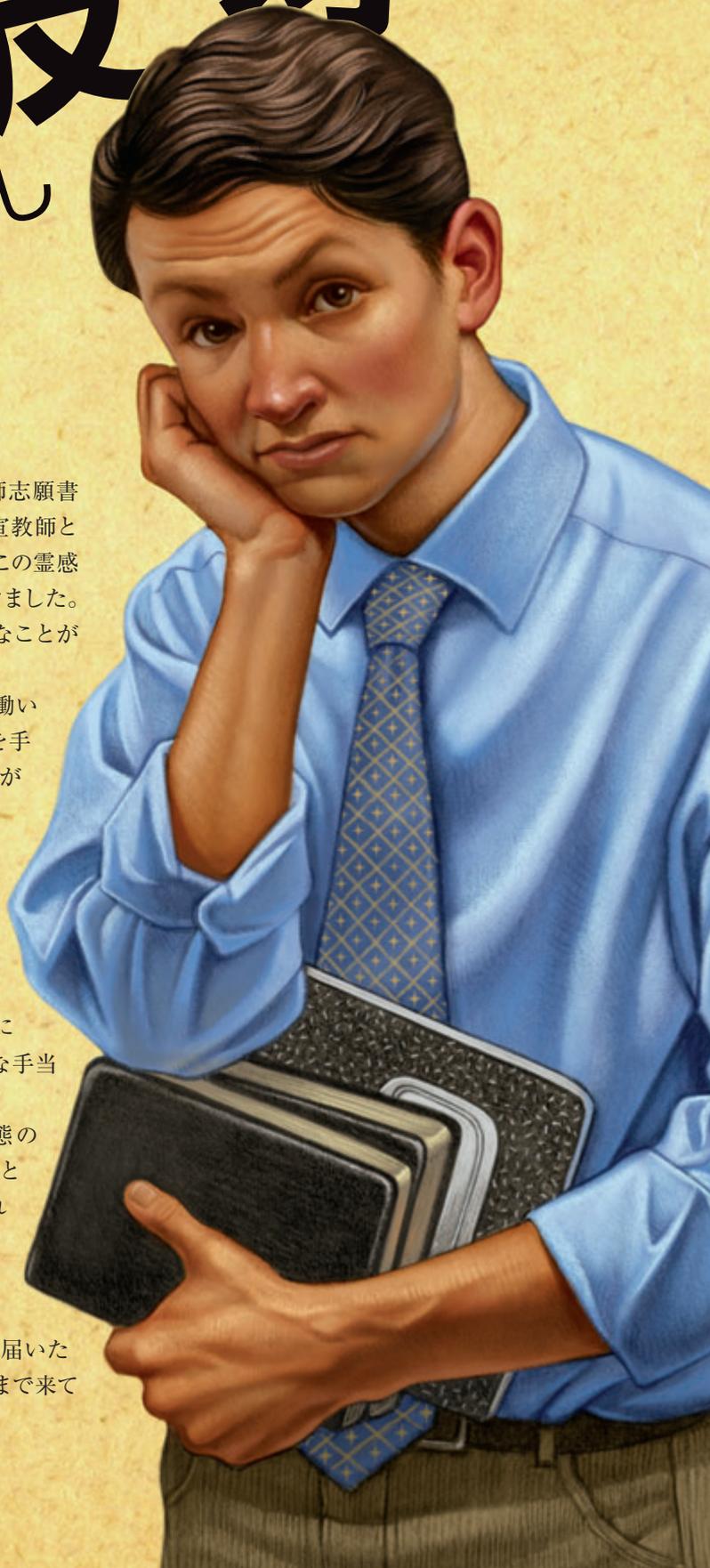
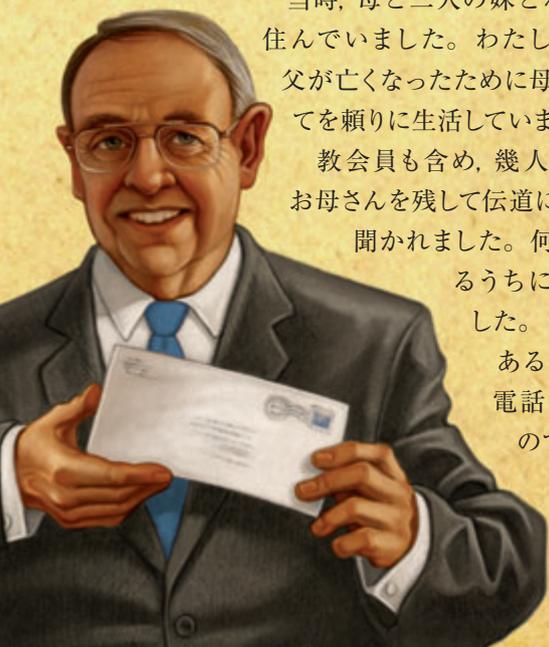
わたしは伝道の召しを待つ間、ゼロックス社の研修員として働いていました。この仕事のおかげで、伝道地で必要になるものを手に入れ、家計をやり繰りする母を助けることができました。全てがうまくいっていました。

ところが、残念ながら「不思議なこと」が起こり始めました。まず、母が襲われて負傷し、危うく死にそうになりました。しかし、優しい天の御父は奇跡的に母の命を助けてくださいました。

当時、母と二人の妹とわたしは賃貸の家に住んでいました。わたしの収入と、何年も前に父が亡くなったために母が受け取ったわずかな手当てを頼りに生活していました。

教会員も含め、幾人かの人に「こんな状態のお母さんを残して伝道に出る勇気があるの?」と聞かれました。何度も同じことを聞かれるうちに、心に迷いが生じました。

ある日、ステーク会長から電話があり、伝道の召しが届いたのでその日の晩に事務所まで来て





決して
あきらめない

「良いことが起こる場所ではまずどこでも、この強い反対の力が発生します。教育を受けようとするときに遭遇することもあれば、宣教師として着任した最初の月が過ぎた頃に受けることもあります。……

大切な決断を下す際に注意すべき事柄やよく考えなければならないことがあるのはもちろんですが、光に照らされた後に、良いものから目をそらさせようとする誘惑に注意してください。以前、ある事柄について祈り、それを信頼し、それに従って生活してみて、それが正しいものであったならば、その正しさは今も変わりません。たとえ圧力が高まって、諦めてはなりません。」

大切な決断を下す際に注意すべき事柄やよく考えなければならないことがあるのはもちろんですが、光に照らされた後に、良いものから目をそらさせようとする誘惑に注意してください。以前、ある事柄について祈り、それを信頼し、それに従って生活してみて、それが正しいものであったならば、その正しさは今も変わりません。たとえ圧力が高まって、諦めてはなりません。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホルランド長老
「確信を放棄してはいけない」
『リアホナ』2000年6月号38参照



ほしいと言われました。首を長くして待っていた、教会本部からの封筒をもらえるということでした。この知らせを聞いて、わたしは緊張と喜びが入り混じった気持ちになりました。

ちょうどその日、仕事の上司が昼食の前に話がしたいと言ってきました。

事務所に行くと、上司は気さくに

わたしを迎え入れてくれ、わたし

が受けた訓練や会社で学んだことについて二人で数

分間話し合いました。それから、その会社で力を

持っていたその人が、町中のだれもが夢見ること

を口にしたのです。「君は研修員としてよく

やってくれた。ぜひ君を正社員として迎

え、チームに残ってもらいたい。どう

だね?」

わたしは人生

で最も難しい選択を迫られました。

数秒がまるで永遠のように感じられました。

本当に母への金銭的な援助を打ち切って伝道地へ行く

のかと問いかける周りの人たちの声が聞こえてくるかのようなようでした。

それでも、わたしは聖典や教会の

指導者からとても神聖な方法で学んだ事柄を思い出し、わたしが主の教会の専任宣教師として奉仕することを神が望んでおられるという揺るぎない確信を抱いていました。神が家族の世話をしてくださること、わたしは神を信頼してよいこと、全てがうまくいくことを確信していたのです。

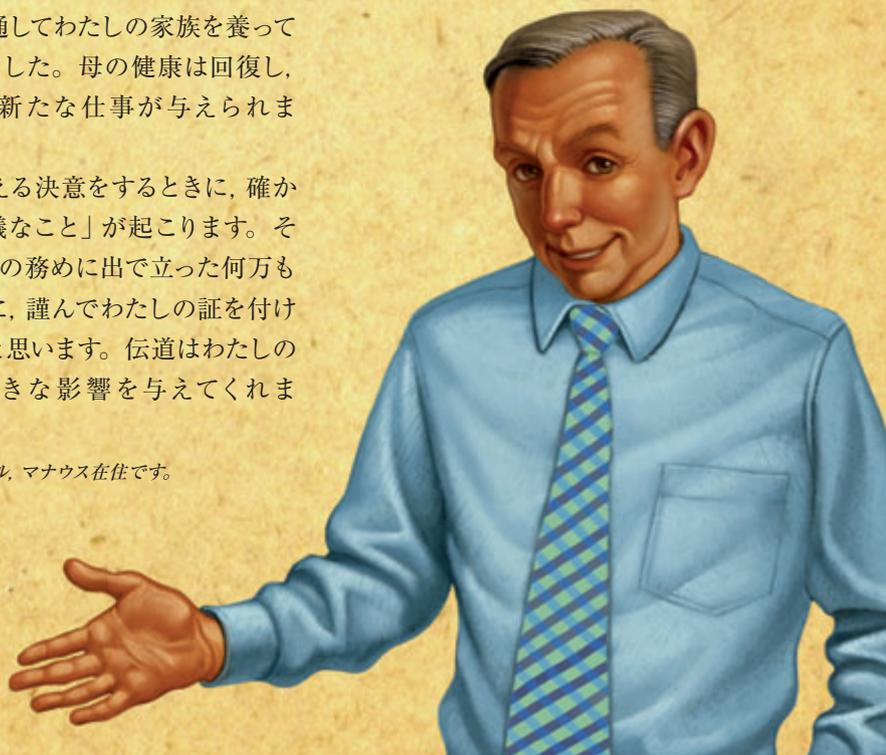
状況を上司に説明すると、彼はこう言いました。「君は分別のある若者だと思っていたが、まさかこんなチャンスを棒に振るとはね。」この言葉は今も繰り返し心によみがえります。

わたしは上司の申し出に心からの感謝を伝え、28日後にブラジル・サンパウロの宣教師訓練センターに入所しました。

伝道中、主は教会の友人や奇跡的な方法を通してわたしの家族を養ってくださいました。母の健康は回復し、妹と母に新たな仕事が与えられました。

主に仕える決意をするときに、確かに「不思議なこと」が起こります。それでも、神の務めに出で立った何万もの人の証に、^{あかし}謹んでわたしの証を付け加えたいと思います。伝道はわたしの人生に大きな影響を与えてくれました。■

筆者はブラジル、マナウス在住です。



イラストレーション・ニールホルト



将来待ち受けているもの

—— について —— もっとよく知る

ノルウェー、オスロの青少年は、
専任宣教師の生活に備えて1日を過ごしました。

キャサリン・アペルセス-アーネンセン

トーマス・S・モンソン大管長が、伝道に出る年齢の変更を発表して以来、教会の青少年は伝道に出るようにとの招きだけでなく、伝道に出る備えをするようにとの招きにも積極的に応じています。伝道に備えるための一つの方法は、将来専任宣教師になったときに待ち受けているものについてもっとよく知ることです。

ノルウェーの青少年は、まさにそれを実践しました。ノルウェー・オスロステークのフレデリクスタッドワードが主催する、丸一日の「宣教師体験」に参加したのです。

「MTC」に入所する

青少年は集会所のある部屋に集まりました。そこが宣教師訓練センターだと想定して活動が始まりました。「ある国について学ぶという課題を与えられました」と話すのは、モスワードのジェーコブ・Rです。「その活動を通して、伝道の召しを受けることがどういうことなのか分かり、自分が慣れ親しんだ場所とは異なる場所に召される可能性があることを知りました。」

「伝道部会長」と会う

「次に隣の部屋へ行き、伝道部会長役の帰還宣教師と会いました」とオスロワードのシモン・Wは言います。その帰還宣教師と他の帰還宣教師が、伝道期間中に予想される事柄について話をしました。「専任宣教師の生活がどういうものかを帰還宣教師から学ぶことができるとてもよかったです」とシモンは言います。参加者には名札が与えられ、同僚を割り当てられ、終始同僚と一緒にいるよう指示されました。

技能を身につける

青少年はワークショップを通して、霊的な成長についてだけでなく、洗濯





最も大切な準備

「奉仕の召しに向けて行うまさに最も大切な準備は、伝道に出るずっと以前から宣教師になることです。」

十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老
「宣教師になる」
『リアホナ』2005年11月号, 45 参照

や、予算内でやり繰り返すこと、健康を保つことなど、日常生活の必要を満たすことについても学びました。

「福音に関する会話の始め方についてのワークショップが特に楽しかったです」とオスロワードのインガー・ソフィー・Jは言います。「今からでも始められることですから。」

「『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の使い方についての話が面白かったです」と話すのは、フレデリクスタッドワードのカール・フレデリック・Oです。「宣教師が学ぶ聖句のリストがあるのかと思っていましたが、既に今セミナーや『わたしの福音を宣べ伝えなさい』で学んでいることが、宣教師になったときに役立つことが分かりました。」

多くの若い男性は、最も心に残ったワークショップの一つは、ワイシャツにアイロンをかけるという実地体験だと話しました。「専任宣教師になる備えをするために身につけるべき実用的な技能が、たくさんあることが分かりました」とジェーコブは言っています。

「ここで伝道している専任宣教師と力を合わせて一つのチームとなるために、今できることがたくさんあることが分かりました」と話すのは、サンドビカワードのサラ・Rです。「会員も

宣教師ですから。」

リフレッシュメントとして世界各国の料理を味わい、宣教師の任地は世界各地にあることを思い起こすことができました。「初めての食べ物に今から挑戦して、食べ慣れない物でも食べてみる訓練をしなければいけないと思いました。そうすれば、なじみのない物を食べる場所に召されても、早く慣れることができますよね」とシモンは言います。

備える

「その日の終わりに、二人の青少年と二人の帰還したばかりの宣教師の証^{あかし}を聞き、その後みんなで『われらは天の王に』を歌いました」と話すのは、フレデリクスタッドワードのリス・アンドレア・Oです。「この賛美歌をいつも歌っていれば、宣教師になることは天の御父に仕えることであり、御父が祝福してくださることをいつも忘れずにいられると感じました。」

一日体験を終えたステーキの青少年は、専任宣教師になる準備をするだけでなく、まさに今も、そして生涯ずっと、宣教師の体験ができるということが分かりました。■

筆者はノルウェー、オスロ在住です。



宣教師の生活はどのようなものでしょうか。

youth.lds.org ("Missionary Preparation" をクリックしてください) にアクセスして、ビデオなどのリソースや、よくある質問の答えから、伝道に出る準備について詳しく学んでください。



あとほうし 後で奉仕するために、 いまほうし 今、奉仕する

マイク・バルボサ

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

「心をつくして主に仕えなさい。」

(サムエル上 12:20)

教会まで競走だ!」モルモンが、ヤシの林の向こうにつき出た教会のせんとを指さして、言いました。そして、弟のモリアンより先に行こうと、全速力で走りました。

ふたり、しょうねん、りょうしん、いえ、で、二人の少年と両親は、家を出てからもう1マイル(1.6キロ)も歩いていましたが、モルモンとモリアンの競走はまだ続いていました。ようやく、ワードの集会所の金属製の門の所に着いた二人



は、立ち止まって息をととのえました。

どちらが勝ったかを決める間もなく、ある男の子が二人に向かってさげばしました。「サッカーやらないか?」

モルモンはサッカーが大好きでした。でもそのときは、家族みんなで教会をそうじて、次の日の集会のためにじゅんぴするところでした。

モルモンは首を横にふり、「今はだめなんだ。また後でね」と返事しました。

モルモンとモリアンは、すぐに一生懸命働き始めました。モルモンはお父さんと一緒にいすを動かしてゆかをはき、モリアンはお母さんと一緒にゆかにモップをかけました。

その後、二人はトイレの鏡をきれいにしました。「教会のそうじなんてやりたくないと思っていたけど、楽しいね」とモリアンが言いました。「お兄ちゃんはどう? だから、サッカーをやらないで、教会に来たの?」





モルモンはお父さんのことを考えました。お父さんはワードのビショップですが、それでも集会所をそうじするために時間を取っていました。

モルモンは、「ぼくが来たのは、お父さんのようになりたいからだよ」と言いました。

それから、ワードで働いてくれている宣教師について考えました。宣教師はいつもいそいそがしくドアをノックして、人々にモルモン書をしょうかいしています。二人がきれいにした教会の建物に来てくれるように、人々を招待するのです。

「ぼくがここにいるのは、いつか伝道にも行きたいからだ」とモルモンは考えました。「教会をきれいにすることで、宣教師を助けることができるんだ。」

モルモンは明日のことを考えました。6時に起きて、白いワイシャツとネクタイを身に着けて教会に歩いて行き、初等協会の部屋で、いすや歌の本をじゅんびするのです。

「ぼくがここにいるのは、教会のめしを受けて奉仕したいからだ」と、モルモンは考えました。

モルモンは、自分ももうすぐ執事になる時のことについて考えました。せいさんを配って、たくさんのことをして奉仕します。

「ぼくがここにいるのは、来年神権を受けるからだし、今じゅんびできることはすべてしたいからなんだ。」

モルモンは神権にそなえるために、もうすでに、あることを行いました。「神への

信仰賞」をもらいました。モルモンはもう、福音にしたがって生活し、人々に奉仕することを学んでいます。

ようやく、モルモンは鏡にうつった弟の顔を見て、にっこりしました。

そして、こう言いました。「ぼくがここにいるのは、主を愛しているからだ。そして、今、奉仕することで、後で奉仕するじゅんびができるからなんだ。」

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国のユタ州にすんでいます。

神権にそなえる



中央若い男性会長、デビッド・L・ベックからの提案

- 生活にみたまをまねいて、正しいことを選ぶように助けてくれる友達を選ぶ。『若人の強さのために』の標準にしたがって生活する。
- 執事としてどのようなぎむを果たすのかを学ぶ。『神への務めを果たす』と『真理を守る』の中で神権について記されていることを読む。ワードまたは支部の神権予行プログラムに出席する。
- 死者のためのバプテスマを受けるために、神殿に行くじゅんびをする。
- ほかの青少年と楽しい活動やディボーショナル（霊的な集会）に参加するのを楽しみにする。
- 天のおん父があなたを信頼し、たよりにしておられることを知る。おん父の助けを受けて、どんなにたくさんの方ができるかを発見する。

若い女性になる じゅんびをする マチルダ

ジェン・ウィルクス (アメリカ合衆国, ユタ州)

マチルダは、もうすぐ若い女性になるのを楽しみにしていましたが、若い女性になるというのがどんなことなのか、よく分かりませんでした。そこで、マチルダは、自分のおばあさんである、中央若い女性会長のボニー・オスカーソンと話し、とてもすばらしいアドバイスをもらいました。

お母さんやおばあさん、ワードの女性の一人に、若い女性のときのことについて覚えていることをたずねてください。楽しいことを聞けるでしょう。

面白いじょうほう

マチルダは、おばあさんのことを「モー」と呼びます。スウェーデン語でお母さんを意味するモーデルを短くした言葉です。

昔……



オスカーソンしまいが若い女性だったとき、いろいろなことを達成して、バッジをもらいました。しまいは、バッジを特別な細長い布にぬいつけて、ネックレスを作りました。そのネックレスには、忠実さをしめす花もついていました。





オスカーソン^{ていあん}しまいからの、 じゅんぴのための提案

- いの^{せいふん}ことと聖文^よを読むことによって、
天^{てん}のおん父^ふとの関係^{かんけい}をきずく。
- 「成長^{せいちょう}するわたし」プログラムについて
知る。
- 聖文^{せいふん}、「若人^{わかくし}の強さ^{つよ}のために」、「リアホナ」
を読む。
- 若い女性^{わか じよせい}のテーマ^{あんき}を暗記^{ほじ}し始める。毎週^{まいしゅう}、
すべての若い女性^{わか じよせい}と一緒に、復唱^{ふくしょう}すること
になります。



わたしたちは天父の娘です。
天父はわたしたちを愛し、わたしたちも天父を愛しています。
わたしたちは若い女性の徳質に従って生活するように努め、
「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても
……神の証人に」なります。
若い女性の徳質——

信仰・神から受け継いだ特質
個人の価値・知識
選択と責任
善い行い・誠実
徳

わたしたちは、これらの徳質を受け入れ、
それによって行動するようになるにつれて、
家庭と家族を強め、
神聖な聖約を交わして守り、
神殿の儀式を受け、
昇栄の祝福にあずかる備えができるようになりますと信じます。

……そして、今

このネックレスは、人々の光となることと
真理と義のために立つことを思い出させて
くれます。
「成長するわたし」の体験とプロジェクト
を達成するたびに、リボンももらえます。
そして、若い女性のメダルをもらいます。



新しい始まり

マチルダは、新年度セミナーと
いう特別な活動に行きました。
楽しいレッスンがあり、「成長す
るわたし」について学びました。

マチルダは、神への信仰達成
賞にも取り組んでいて、信仰箇条
を暗記しています。

マチルダは、
次のことが楽しみで、
待ち切れません。

- 毎週の活動。
- 若い女性のほかの女の子
と知り合いになること。
- 若い女性のキャンプに行く
こと。

特別な思い出

2013年4月6日、マチルダはたくさんのいとこと一緒にカンファレンス
センターにいました。でも、なぜおばあさんがみんなをそう大会にしょうたい
してくれたのか、だれも知りませんでした。おばあさんが若い女性の組織の
会長として支持を受けたとき、みんなおどろき、うれしくなりました。



いま かがや
今こそ輝こう

力強く ♩ = 58-68

詞：ジャン・ピンボロー
曲：ジャニス・カップ・ペリー

F C F Gm7 C7 F

女の子
1. エ ス テ ル の よう に し ゅ に し た が い ゆ
2. エ ー ビ シ の よう に ふ く い ん わ か ち し ん

B♭ C7 A7 Dm G7 C7

男の子
う き と し ん こ う も っ て て ん ぶ に つ か え る ニ
こ う の ひ か り か か げ て し ん り つ た え よ う モ

F C F Gm7 C7 F

一 ファ イ の よう に か み の けい か く う
口 ナ イ の よう に け し て あ き ら め す ち ゅ

B♭ C7 A7 Dm Gm7 C7 F 折り返し

全員
や ま い ほ こ り を も っ て と も を た す け よ う
う じ つ に し ん り の は た た か く か か げ よ う い

B♭ F C F B♭ F Gm7 C7 F

ま こ そ か が や こ う し ゅ の こ と ば つ た え よ う

©2014 Jan Pinborough and Janice Kapp Perry. All rights Reserved.

教会あるいは家庭における一時的また非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。
複製の際はこの通知部分を含めること。

とく べつ しょう にん
特別な証人



じゅうに しとていんかい
十二使徒定員会
クエンティン・
L・クック長老

じゅうに しとていんかい かいじん
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
とくべつ しょうにん
特別な証人です。

どうしたら 家族歴史活動を 助けられるでしょうか？

ちやうろう
クック長老は、
「ファミリーツリーのつどい」を
ひら 開くように提案しています。
ほうほう その方法をしようかいしましょう。

かぞくれきし きんく せんぞ
家族歴史の記録や先祖にまつわる話や写真、
そふぼ りやうしん たいせつ
祖母や両親が大切にしていたものなどを、
かぞくひとりひとり も
家族一人一人に持ちよってもらいます。

かぞく しんぞく しっしんち
家族や親族の出身地や
かれらがどのよな生活を送ったかを学ぶのは、
せいかつ おく まな
その方法が
たの 楽しいものです。

しんでん ぎしき
まだ神殿の儀式が
お 終わっていない記録を見つけ、
しんでん ぎしき
神殿で儀式をしてもらえるように
よやく 予約してください。

はなし しゃしん
そのような話や写真をスキャンして、
FamilySearch.org で
ファミリーツリーにのせることができるように
たす 助けてください。

ね えだ 「根と枝」
「リアホナ」2014年5月号、47

イラストレーション: ナタリヤ・アソワ

「家族——世界への宣言」は、わたしの かぞくを たすけるために かみから あたえられました

家 族 世 界 へ の 宣 言

末日聖徒イエス・キリスト教会
大管長会ならびに十二使徒評議会

わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

前世で、霊の息子、娘たちは神を知って、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受けます。完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行末を実現するために、地上での経験を乗り越える必要がありました。神の幸福の計画は、家族関係が基を超えて続くことを可能にしました。神聖なる神殿において得られる神聖な儀式と誓約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰る、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。

神がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

わたしたちは宣言します。この世に命をもらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。

夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対して愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。

この宣言は、1966年9月23日、ユタ州ソルトレーク・シティで開催された中央扶助協会会において、ゴードン・B・ヒンクレー大管長により、メッセージの一部として読み上げられたものである。

「子供たちは神から賜った御業であり」(詩篇127:3)とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い、仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法に律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの義務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

家族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改めの、敬し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなげばなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は同等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害やいかに助け合うという状況で、個々に修正を加えなければならぬことがあるかもしれませんが、必要に応じて、親族が援助しなければなりません。

わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴偶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしよう。

わたしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を推進していただくよう呼びかけるものであります。

エリン・サンダーソンとジーン・ビンガム

子どもには、たくさんの力がああり、かぞくにへんかをおこすことができます。どのかぞくも同じではありませんが、すべてのかぞくが天のお父さまにとって大切です。天のお父さまは、かぞくに強くなってほしいと思っておられるので、わたしたちをたすけるために、「家族——世界への宣言」をおあたえになりました。天のお父さまはあなたのたすけによって、かぞくを強められることをごぞんじます。

あなたは、えいえんのかぞくのいちいんであり、かぞくはあなたのたすけをひつようとします。

あなたは、かぞくにしあわせや親切、あいをあたえることができます。

あなたは、よく話を聞き、いっしょにはたらし、あそび、おたがいにゆるし合い、たすけ合うことができます。

あなたは、かぞくとせいぶんを読むことができます。

あなたは、いのり、いましめをまもって、かぞくのよいもはんになれます。■

このお話を書いた人は、アメリカがしゅうごくのユタしゅうにすんでいます。

せいぶん

• ヨハネ 15 : 11

かぞくで話し合うためのアイデア

天のお父さまはすべてのかぞくに強くなって、みもとに帰って来てほしいとのそんでおられます。かぞくの一人一人が、かぞくを強めるためにどんなことができるか話し合しましょう。



わたしは、
によって、かぞくを つよ強められます。

あなたには できます！



きれいな あ空きかんに この みぎラベル(右)と、
えしゃしんや え絵を はります。あなたが かぞく
を つよ強められる ほうほうを かみ紙に か書き
ましよう。かみ紙を き切りとり、かんかんに い入れます。
毎日 まいにちかんの なか中から かみ紙を 1まい えらん
で、か書いてあることを おこな行います。考えたことを
じっこうじっこうするとき、かぞくにかぞくに へんかへんかをおこす
ことができます。



わたしには
できます！

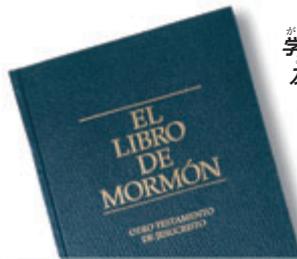


わたしはチリの バーバラです

エイミー・ジェーン・レビットとの
インタビューから

バーバラは、チリに すんで
います。チリは 南アメリ
カの 西かいがんに ある 国
で、細長い リボンの ような
形を しています。チリには、ア
タカマさばくの ように あつく
て かんそうした ちいきも あ
れば、イースターとうの ように
しつどの 高い ねったいの
ちいきも あります。バーバラは、
チリの しゅとの サンチアゴに
すんでいます。■

ひっしや は アメリカがっしゅうこく ユタしゅうに
すんでいます。



学校の クラスで、教会いんは わたし 一人だけなので、
友だちに イエス・キリストや モルモン書について
話す チャンスが よく あります。
あるとき、なかよしの 友だちから、
いのり方を 教えてほしいと 言われて、教えてあげました。
それからは、学校で お昼ごはんを 食べるとき、
二人で おいのりするように なりました。



わたしは 9才で、弟が 二人 います。
わたしは、いい おねえちゃんに なろうと がんばっています。
弟たちの めんどろを見たり、いっしょに ゲームを してあげたり します。
わたしは 小さい 子の めんどろを見るのが すきです。
大きくなったら、先生に なりたいです。

2013年に、8才に なった わたしは、
バプテスマと かくにんを
お父さんから うけました。
とても うれしかったです。
ずっと わすれられない
とくべつな けいけんです。

オーラ、アミーゴス！*

*スペイン語で
「こんにちは、友だちの みなさん！」
という いみです。

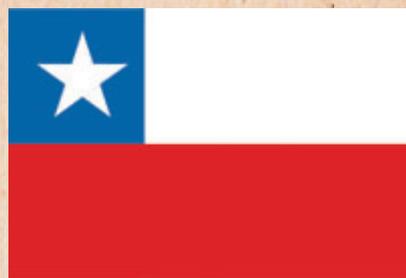
チリでは、楽しい
さいじつを おいわします。
9月18日は、どくりつきねん日^びで、
19日は、ぐんたいの日^ひです。
この2日間、
わたしたちは 国の ダンス
「ラ・クエカ」を おどったり、
エンパナダスという、肉をつつんだ
おいしい パイを 食べたりします。



しゅうまつに なると、わたしの かぞくは
ハイキングに 行ったり、
家の 近くの 山で 四りんしゃに のったり
するのが 大すきです。
かいがんに 行くのも すきです。

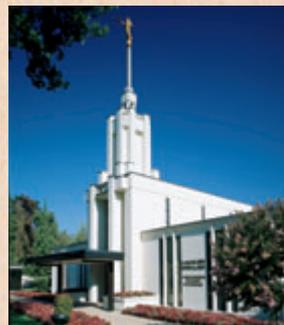


わたしたちは、クリスマスには
とくべつな りょうりを 食べます。
ツナをつめた トマトです。
チリでは、サンタクロースが
クリスマスイブの ちょうど
ま夜中に 来ます。
わたしたちは、
サンタクロースが 来るまで
おきて まつことも できます。



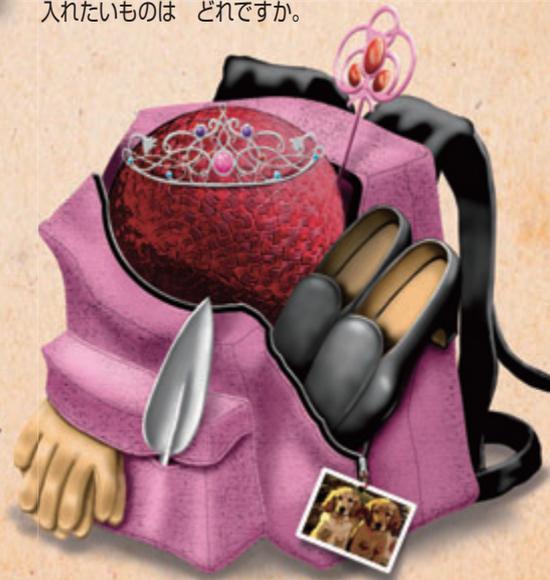
しんでんを 見るのが 大すきです！

チリ・サンチアゴしんでんは スペイン語を
話す 国で、はじめて たてられた しんでん
です。1983年 9月 15日に ほうけんされ
ました。南アメリカで 2番目に たてられた
しんでんです。



じゅんぴ オーケー！

バーバラの バッグには、バーバラの すきな
ものが 入っています。あなたが バッグに
入れたいものは どれですか。



わたしたちの ページ



バプテスマを うける 少 前 の ある 日、ぼくは おばあちゃん の 家 に いました。おばあちゃんは 地下室に 何かを とり に 行って、ころ ンで おき 上 が れ な く な っ て し ま い ま し た。ぼくを よび ま し た が、ぼくは テレビを 見 て い た の で おばあちゃん の 声 が 聞 こ え ま せ ん で し た。だ い たい 10分 た っ た 後、「トム」と ぼく の 名 前 を よぶ、しずかな 声 が 聞 こ え ま し た。ぼくが おばあちゃんを さが し に 行くと、おばあ ちゃん が ゆか に たおれ て い ま し た。ぼく の 力 は 弱 弱 弱、おばあ ちゃん が おき 上 が れ る よう に たすけ ら れ な っ た の で、きんじよ の 家 に いそい で 行 き ま し た。きんじよ の 人 が 来 て、おばあちゃんを たすけて おこして くれ ま し た。

おばあちゃんは、ぼくに、「トム、あなたが聞いたのは、せいれいよ。あなたは遠くにいたので、わたしの声は聞こえなかったからね」と言いました。

ぼくに ささやいて くださったのは、せいれいだと 知っています。ぼくは 今 バプテスマを うち て せいれい の たまもを も っ て い る こ と を うれし く 思 い ま す。

トム・R, 8才 (ドイツ)



ルー・C, 7才 (エクアドル)



ナターリア・A, 10才 (コロンビア)



ブラジルに すむ シェリー・M (7才) は、 初等協会で 行くことと さんびかを 歌うことが すきです。 シェリーは しんでんが しゅの みやであること を 知っています。



ルーマニアに すむ 8才 の オリビア・I は、お母 さんが 家 の そうじを するの を 手つ だう の が すきです。お母 さんは、オリビアと 13人 の 友 だち に べんきょうを 教 えて います。オリビアは、 休 み 時 間 に 先 生 の ふり を する の が すきです。オリビアは、お父 さん や お母 さん と りょこうに 行 っ た り、おじい ちゃん や おばあ ちゃん と いっしょに 時 間 を すごし た り する の が すきです。バプテスマを うち た と き、天 の お父 さまを と とも 近 く に かんじ ま し た。そし て、何 かを えらぶ と き せいれい に たすけて いた だ け る こ と に かんしゃして います。オリビアの すきな 初等 協 会 の 歌 は、「よげんしゃに した が おう」(『子 供 の 歌 集』58 - 59) です。



「わたしたちのページ」に皆さんの絵や写真、経験談を送ってください。送り方は、3通りあります。1つ目は、liahona.lds.orgを通して送る方法、2つ目は、電子メールで送る方法(送り先はliahona@ldschurch.org、件名は「わたしたちのページ」)、3つ目は、以下に書かれている住所に郵送する方法です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3歳から11歳)、それに加えて親の名前、所属ワード/支部名、ステーク/地方部名を明記し、子供の写真や提出物の使用に対する親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

「リアホナ」わたしたちのページ
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA



しちじゅうにん
七十人
アドリアン・オチャオ長老

見上げなさい



「たえず目をさましていなさい」
(ルカ 21:36)

わたしが8才のとき、二人のいとことわたしは、食料を買うために近くの町までお使いに出されました。今思うと、祖母とおばとおじが心からわたしを信頼してくれていたことにおどろきます。明るくかやく朝空の下、わたしたちは3頭の馬にまたがって小さな隊列を組んで出かけました。草原の中で、わたしたちは馬をおりてビー玉遊びをすることにしました。遊びに夢中になったわたしたちは、見上げなかったので、黒雲が空をおおっているのに気づきませんでした。あらしが来ていることに気づいたときには、馬に乗るひまさえありませんでした。

はげしい雨とひょうがわたしたちをおそいます。馬のくらを取り外して、くらの下に置いてあった毛布をかぶることくらいしかできませんでした。馬はにげて行ってしまいました。

馬ににげられ、びしょぬれで、ごごえながら、わたしたちは近くの町に向かって急ぎ足で歩き始めました。ある家にたどり着いて、戸をたたいたときには、大分おそい時間になっていました。その家族はわたしたちの体をかわかし、おいしい豆料理を食べさせ、土のゆかの部屋でベッドにねかせてくれました。

いとことわたしが朝目覚めると、日差しは明るく、空は晴れわたっていました。3人のまいごの少年をさがし

て、一人の男性が戸をたたきました。家に帰る途中で、一ばん中わたしたちをさがし続けてくれたたくさんの人々を見たときのことを、わたしは決してわすれないでしょう。先頭にはやさしい祖母とおじとおばのすがたがありました。ゆくえ不明の子供たちを見つけたかれらは、喜びのあまり泣きながらわたしたちをだきしめてくれました。

天のお父様はわたしたちを心にかけてくださっています。お父様は首を長くしてわたしたちの帰りを待っておられるのです。わたしたちの周りには、れいのあらしのしるしがあります。わたしたちが毎日、見上げて、あかしを強めることによって自分をそなえることができますように。■

イラスト：シモーナ・ティ

かぞくの チーム



みんなで きょうりよくすると かつのは もっと かんたんに になります。

シェラリー・ハーディ

ほんとうに あった お話を もとに 書かれました。

「すきな お母さん

て 手つだうとき

うた 歌が 出るほど

たの 楽しく なる」

(『子供の 歌集』108)

アンモンは、お父さんと
いっしょに サッカーの
しあいから 帰るとちゅうで、
ためいきを つきました。「分か
んないよ。ぼくたちの チーム
には いい せんしゅが たく
さん いるのに、どうして 点
を 入れられないんだらう。」

お父さんは とても サッ
カーが 上手だったので、たす

けてもらえると 思ったのです。

「チームとして きょうりよくで
きるように ならないと いけ
ないと 思うよ」と、お父さん
が 言いました。「みんな、自
分が ゴールして 点を入
れたいと 思っているだらう?」

「そうだね。でも、ぜんいん
が 点を入れる 人には
なれない。お父さんが 言っ
ているのは、そういうこと?」

お父さんは、うなずきました。
「自分 一人では 点は 入れら
れないね。まず、ディフェンダー
は てきから ボールを うばわ
ないと いけない。そうだらう?」

アンモンは 笑いました。

「ボールを 持っていないければ、
点を 入れるのは すごく むず
かしいよね。」

「そうだね。それから、ディフェ
ンダーは、点を 入れることが
できる 人に ボールを わたす
んだ。一人で ぜんぶ できる
人は だれも いないよ。」

「そうだね」と、アンモンは
言いました。

二人が 家につくと、お母
さんは 赤ちゃんを だっこしな
がら、夕ごはんを 作っていま
した。「しあいはどうだった?」
とお母さんは 聞きました。

「また、まげちゃった。でも、
こんどは もっと がんばるよ。」



アンモンは 答えました。

「それは、りっぱな 心がけね」と、お母さん。

「おなかが ぺこぺこだ!」ミゲルと サミュエルと ルーカスが さげびながら かけこんで 来ました。

「みんな、テーブルの じゅんぴをして、おもちゃをかたづけるのを 手つだってもらえる?」お母さんが 聞きました。

4人の 男の子たちは、ぶつぶつ もんくを 言いました。

「でも、ぼくは おもちゃであそんでないよ」と、サミュエル。

「そんなこと やっていたら えいえんに おわらないよ!」

ミゲルが、泣きべそを かきました。

お父さんが 笑って 言いました。「うちの かぞくにも、アンモンの チームと 同じ もんだいがあると 思うよ。」

「それって 何?」と、サミュエルが 聞きました。

「みんなが きょうりよくしてはたらいてないんだよ。」アンモンが 言いました。「ぜんいんが、夕ごはんを 食べて、自分が 点を入れたい と思っているんだ。後は ぜんぶ お母さんに まかせてる。」

「その とおり。じゃあ、チームとして どう きょうりよく

できるかな。」

アンモンは あることを 思い つきました。「サミュエルと ぼくが テーブルを じゅんぴしたら どうか。ほかの 二人が おもちゃを かたづければ いいよ。」

「いい 考えだね。」お父さんが 言いました。

すぐに、夕ごはんが できました。アンモンは おいのりすのために うでを 組みました。かぞくで チームとして きょうりよくできて よかったと 思いました。自分の サッカーの チームも 同じように できると いいなと 思いました。■

この お話を 書いた 人は、カナダのトロントに すんでいます。



十二使徒定員会
M・ラッセル・
バラード長老

欺き

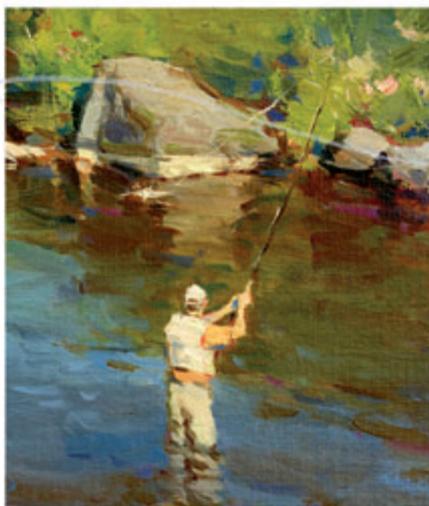
秋はフライフィッシングをする人々にとって特に楽しい季節です。この時期のマスは、冬の餌不足に備えて体を強めるために、非常に食欲旺盛になるからです。

フライフィッシングをする人は、マスを巧みにだまして捕まえようとします。熟練した釣り人は、マスの行動、天気、水の流れ、マスが食べる虫の種類や、その虫がふ化する時期などを研究します。釣りに使う疑似餌を手作りすることもよくあります。小さな釣り針がはめ込まれたこの疑似餌は完璧でなければなりません。なぜなら、ほんの少しでも出来が悪ければ、マスはそれを見破り、食いつこうとはしないからです。

水面から飛び出て疑似餌に食いついたマスが逃げようともがき、ついに疲れ果ててリールで巻き上げられるのを見るのはスリルがあります。知識や技術を駆使する釣り人と、気高いマスの一騎打ちです。

疑似餌を使って魚をだまして捕まえるのは、ルシフェルがわたしたちを誘惑し、だまし、わなにかけるためによく使う方法と似ています。

マスが空腹に駆られて行動すること



を知っている釣り人と同じように、ルシフェルもわたしたちの「空腹」あるいは弱さを知っていて、疑似餌を使って誘惑します。そして、わたしたちが餌にかかると、人生という小川から釣り上げ、自分の冷酷な影響下に置いてしまうのです。捕まえた魚をそのまま水に戻してやる釣り人と違って、ルシフェルは獲物を進んで逃がすようなことはしません。彼の目標は、犠牲者を自分と同じように惨めにするることなのです。

ルシフェルがわたしたちに対して使うおもな方法の一つは、偽りを言い、だまし、悪を善、善を悪だと信じ込ませることです。そもそも世の初めの

天上の大会議のときから、サタンは「主なる神であるわたしが与えた、人の選択の自由を損なおうとした」のです（モーセ4:3）。

神がお与えになった選択の自由をめぐる戦いは今日も続いています。サタンとその手下は、わたしたちの周囲の至る所に疑似餌を置き、わたしたちがだまされて疑似餌に手をつけるのを今か今かと待ち構えています。偽りの方法で釣り上げるためです。

兄弟姉妹の皆さん、人を捕る偽漁師ルシフェルが仕掛けた疑似餌に注意しましょう。ルシフェルが差し出す数々の危険な誘いを見分け、拒むだけの知恵と霊の目を持つことができますように。

そして、どのような種類であれ、依存症に陥ってしまった皆さん、希望はあります。なぜなら神は全ての子供たちを愛しておられるからです。また主イエス・キリストの贖いが全てのことを可能にするからです。■

「おお、悪しき者のあの狡猾な策謀よ」『リアホナ』
2010年11月号、108 - 110から



洞 察

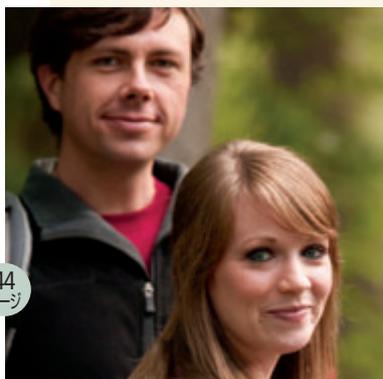


わたしは、今日の開拓者だろうか？

「わたしたちはソルトレーク盆地まで平原を歩いて渡った開拓者をたたえますが、現代には、はるかに多くの開拓者がいます。手車を押ししてはいませんが、非常に多くの点で昔の開拓者とまったく同じです。彼らも、モルモン書や個人の祈りを通して主の御声を聞いています。信仰と悔い改めにより、バプテスマの水に入り、福音という肥えた土壌にしっかりと根付いています。キリストの弟子である彼らは、正しく真実なことのために喜んで犠牲を払ってきました。聖霊の賜物を受け、永遠の命に向かう道を着実に歩んでいるのです。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト



44
ページ

信仰を 擁護する

5人のヤングアダルトたちが、反対に遭ってもどのように信仰を擁護したかを分かち合っています。

青少年

重要な 質問のしかた

正しい方法で表現するなら、質問は、教えるすばらしい機会となります。



54
ページ

子ども



68
ページ

わか じょせい 若い女性へ ようこそ

ボニー・L・オスカーソンしまい まごむね姉妹と孫娘のマチルダが、若い女性わか じょせいになることで期待できる事柄について紹介しています。